

第三章 アンケート調査結果

1. 調査結果（技能実習生）

(1) 回答者属性

①性別

	サンプル数	男	女	その他・答えたくない
実数	1,304	570	729	5
構成比	100.0	43.7	55.9	0.4

②年齢

	サンプル数	20歳未満	20歳～24歳	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳以上
実数	1,301	29	430	358	284	133	67
構成比	100.0	2.2	33.1	27.5	21.8	10.2	5.1

③出身国

	サンプル数	ベトナム	中国	フィリピン	インドネシア	その他
実数	1,302	498	498	150	101	55
構成比	100.0	38.2	38.2	11.5	7.8	4.2

④結婚の有無

	サンプル数	結婚している	結婚していない
実数	1,293	566	727
構成比	100.0	43.8	56.2

⑤職場の地域

	サンプル数	西部	中部	東部	北部
実数	1,146	248	143	669	86
構成比	100.0	21.6	12.5	58.4	7.5

⑥居住地域

	サンプル数	西部	中部	東部	北部
実数	1,141	248	142	664	87
構成比	100.0	21.7	12.4	58.2	7.6

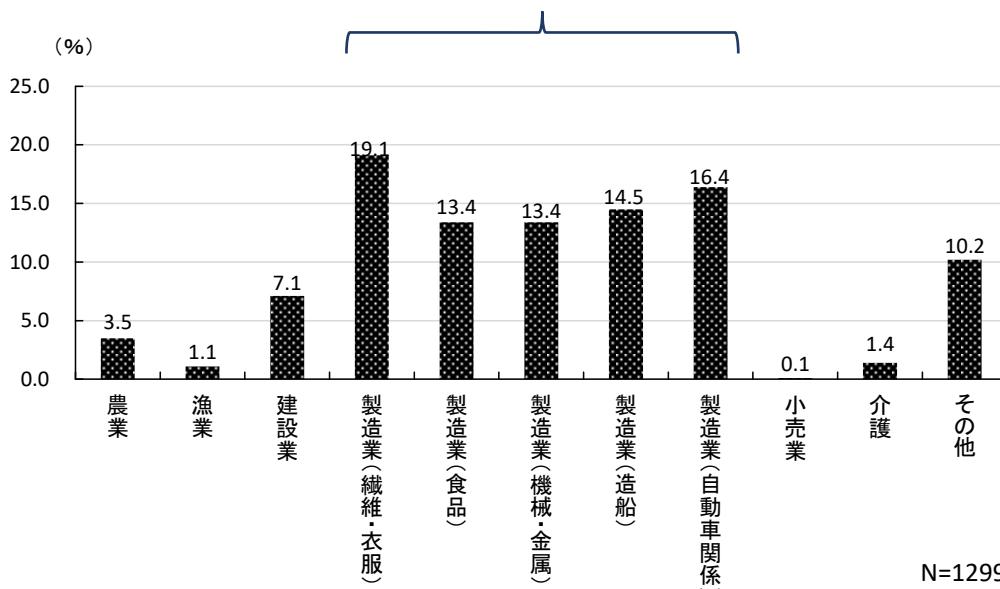
⑦日本での在住年数

	サンプル数	1年未満	1年	2年	3年	4年以上
実数	1,289	329	293	444	182	41
構成比	100.0	25.5	22.7	34.4	14.1	3.2

⑧受け入れ先の業種

サンプル数	農業	漁業	建設業	製造業(繊維・衣服)	製造業(食品)	製造業(機械・金属)	製造業(造船)	製造業(自動車関係)	小売業	介護	その他
1299	45	14	92	248	174	174	188	213	1	18	132

製造業計 76.8%



【出身国別】

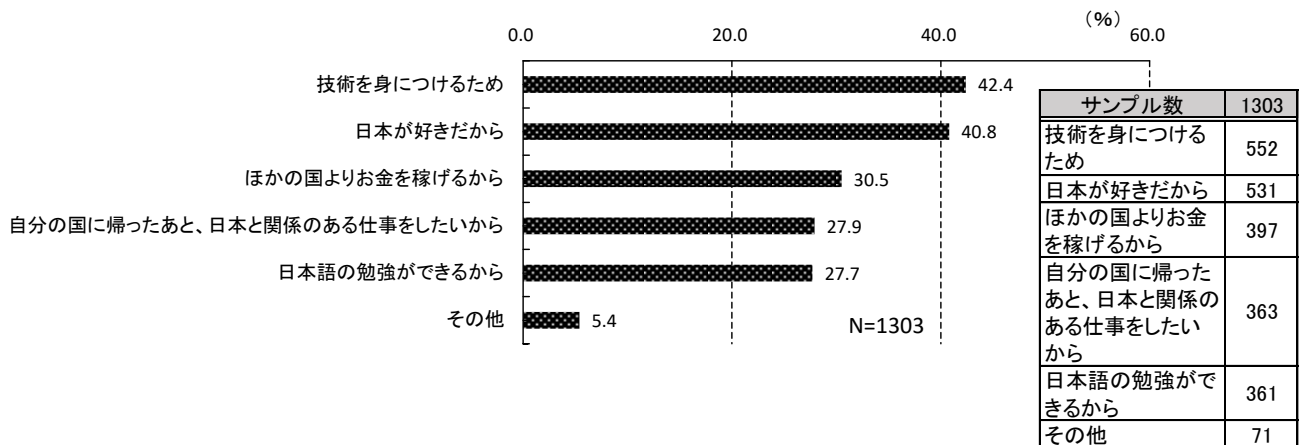
		サンプル数	農業	漁業	建設業	製造業(繊維・衣服)	製造業(食品)	製造業(機械・金属)	製造業(造船)	製造業(自動車関係)	小売業	介護	その他
上段:実数、下段:%													
全体		1,299 100.0	45 3.5	14 1.1	92 7.1	248 19.1	174 13.4	174 13.4	188 14.5	213 16.4	1 0.1	18 1.4	132 10.2
出身国	ベトナム	495 100.0	3 0.6	2 0.4	80 16.2	73 14.7	100 20.2	49 9.9	55 11.1	63 12.7	1 0.2	0 0.0	69 13.9
	中国	492 100.0	36 7.3	11 2.2	11 2.2	159 32.3	56 11.4	47 9.6	15 3.0	118 24.0	0 0.0	0 0.0	39 7.9
	フィリピン	150 100.0	6 4.0	1 0.7	0 0.0	0 0.0	11 7.3	34 22.7	60 40.0	24 16.0	0 0.0	0 0.0	14 9.3
	インドネシア	101 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 2.0	29 28.7	53 52.5	6 5.9	0 0.0	11 10.9	0 0.0
	その他	53 100.0	0 0.0	0 0.0	1 1.9	13 24.5	4 7.5	14 26.4	2 3.8	2 3.8	0 0.0	7 13.2	10 18.9

(2)現在の職場における就労環境について

① 就業先として、日本を選択した理由

設問：あなたは、なぜ働く場所として日本を選びましたか？（複数回答可）

「技術を身につけるため」が42.4%で最も高く、次いで「日本が好きだから」が40.8%、「ほかの国よりお金が稼げるから」が30.5%となった。



【出身国別】

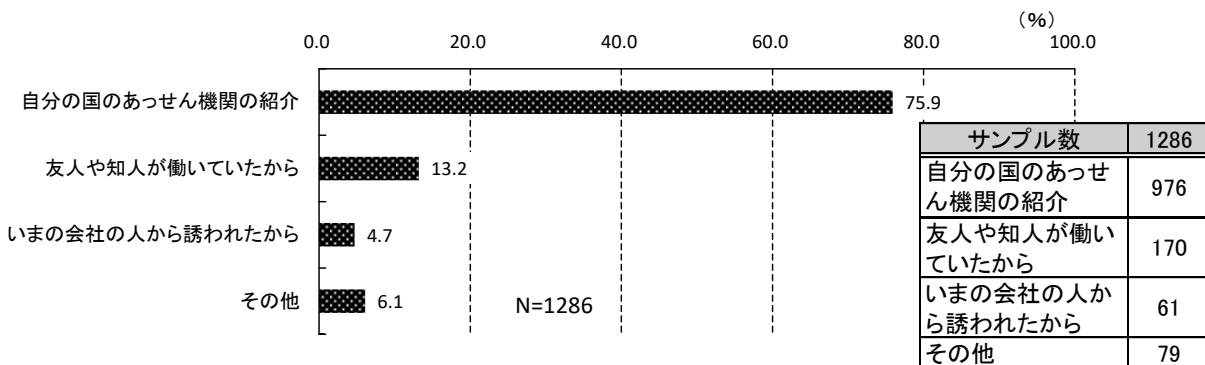
出身国別にみると、フィリピンとベトナム出身者では「技術を身につけるため」がそれぞれ58.0%、49.1%と最も高くなっている。中国出身者では「日本が好きだから」が53.3%、インドネシアとその他の国の出身者では「ほかの国よりお金を稼げるから」がそれぞれ51.5%、48.1%と高くなっており、来日目的の傾向に違いがみられた。

	サンプル数	技術を身につけるため	日本語の勉強ができるから	日本が好きだから	ほかの国よりお金を稼げるから	自分の国に帰ったあと、日本と関係のある仕事をしたいから	その他	
全体	1,303	552	361	531	397	363	71	
	100.0	42.4	27.7	40.8	30.5	27.9	5.4	
出身国	ベトナム	497	244	155	184	125	197	23
		100.0	49.1	31.2	37.0	25.2	39.6	4.6
	中国	495	162	150	264	140	105	35
		100.0	32.7	30.3	53.3	28.3	21.2	7.1
	フィリピン	150	87	15	35	53	25	6
	100.0	58.0	10.0	23.3	35.3	16.7	4.0	
インドネシア	101	36	29	30	52	24	2	
	100.0	35.6	28.7	29.7	51.5	23.8	2.0	
その他	52	17	11	17	25	10	5	
	100.0	32.7	21.2	32.7	48.1	19.2	9.6	

② 現在の会社で就業することになった理由

設問：どうして、いまの会社で働くことになりましたか？（1つだけ選択）

「自分の国のあっせん機関の紹介」が75.9%で最も高く、次いで「友人や知人が働いていたから」が13.2%となった。



【出身国別】

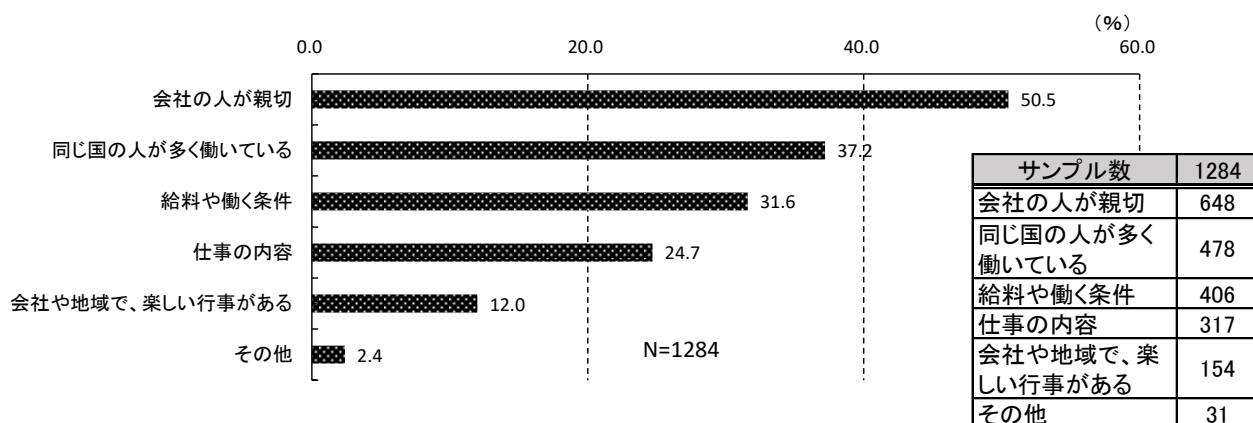
出身国別にみると、ベトナムと中国出身者では「自分の国のあっせん機関の紹介」がそれぞれ86.5%、76.0%と高い。また、インドネシアとフィリピン出身者では、「自分の国のあっせん機関の紹介」が最も高いが、「友人や知人が働いていたから」も20%以上となっている。

出身国	サンプル数	理由				その他
		から誘われたか	友人や知人が働いていたから	自分分の機関の紹介	その他	
全体	1,286 100.0	61 4.7	170 13.2	976 75.9	79 6.1	
ベトナム	489 100.0	14 2.9	46 9.4	423 86.5	6 1.2	
中国	491 100.0	16 3.3	59 12.0	373 76.0	43 8.8	
フィリピン	144 100.0	18 12.5	29 20.1	72 50.0	25 17.4	
インドネシア	101 100.0	2 2.0	25 24.8	70 69.3	4 4.0	
その他	53 100.0	11 20.8	8 15.1	33 62.3	1 1.9	

③ 現在の仕事の良い点

設問：いまの仕事の良い点は何ですか？（複数回答可）

「会社の人が親切」が50.5%で最も高く、次いで「同じ国の人が多く働いている」が37.2%、「給料などの働く条件」が31.6%と、人間関係や同国籍者の存在など、職場環境における項目の評価が高い傾向となった。



【出身国別】

出身国別にみると、ベトナムと中国、その他の国の出身者では「会社の人が親切」がそれぞれ50%以上と最多となっている。一方、フィリピン出身者では「給料や働く条件」、インドネシア出身者では「同じ国の人が多く働いている」が最多となっている。

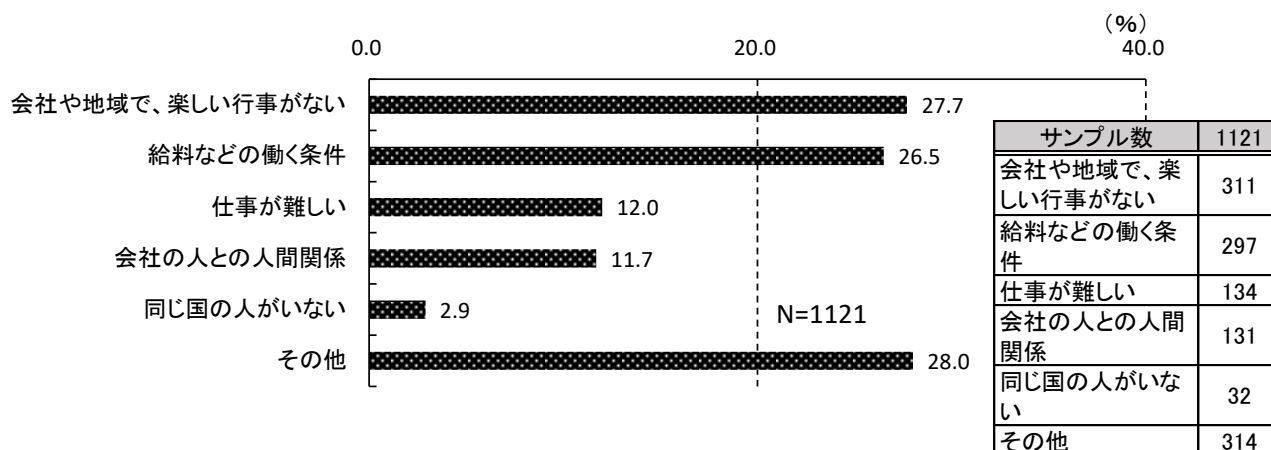
なお、中国出身者では「同じ国の人が多く働いている」、インドネシア出身者では「給料や働く条件」も40%以上と、次いで高くなっている。

	サンプル数	仕事の内容	給料や働く条件	会社の人 が親切	同じ国の 人が多 く働い ている	会社や 地域 で、 楽し い行 事 が あ る	その他	
上段:実数、下段:%								
全体	1,284 100.0	317 24.7	406 31.6	648 50.5	478 37.2	154 12.0	31 2.4	
出身国	ベトナム	481 100.0	122 25.4	120 24.9	255 53.0	171 35.6	31 6.4	12 2.5
	中国	493 100.0	129 26.2	154 31.2	268 54.4	210 42.6	85 17.2	13 2.6
	フィリピン	149 100.0	47 31.5	64 43.0	59 39.6	37 24.8	10 6.7	4 2.7
	インドネシア	100 100.0	8 8.0	45 45.0	35 35.0	47 47.0	18 18.0	1 1.0
	その他	53 100.0	10 18.9	21 39.6	28 52.8	8 15.1	9 17.0	1 1.9

④ 現在の仕事の嫌な点

設問：いまの仕事の嫌な点は何ですか？（複数回答可）

「会社や地域で、楽しい行事がない」が27.7%、次いで「給料などの働く条件」が26.5%と高くなっている。なお、「その他」の自由記載されたものとしては、「特にない」が半数以上を占めた一方で、「日本語が難しい」や「残業が少ない」などが多かった。



【出身国別】

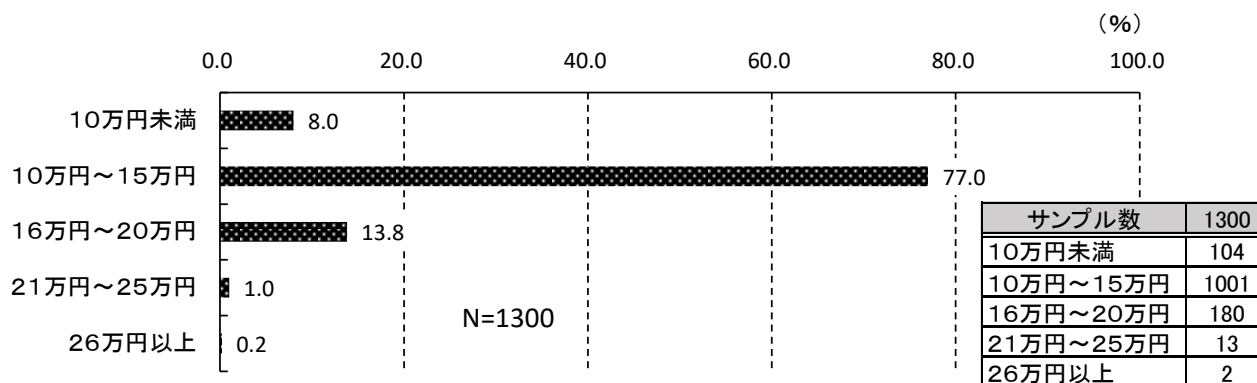
出身国別にみると、インドネシア出身者では「会社や地域で、楽しい行事がない」が48.3%で最も高く、他国出身者と比較しても高い結果となった。ベトナム、中国、その他の国の出身者では「給料などの働く条件」がそれぞれ30%前後と最も高い。また、フィリピン出身者では、「会社の人との人間関係」が33.3%と最も高い結果となった。

	サンプル数	仕事が難しい	給料などの働く条件	会社の人との人間関係	同じ国の人がいない	会社や地域で、楽しい行事がない	その他	
								上段:実数、下段:%
全体	1,121	134	297	131	32	311	314	
	100.0	12.0	26.5	11.7	2.9	27.7	28.0	
出身国	ベトナム	438	57	126	34	28	106	124
		100.0	13.0	28.8	7.8	6.4	24.2	28.3
	中国	419	47	138	42	1	125	115
		100.0	11.2	32.9	10.0	0.2	29.8	27.4
	フィリピン	120	7	16	40	2	33	31
	100.0	5.8	13.3	33.3	1.7	27.5	25.8	
インドネシア	89	9	3	4	0	43	31	
	100.0	10.1	3.4	4.5	0.0	48.3	34.8	
その他	48	12	13	11	1	2	11	
	100.0	25.0	27.1	22.9	2.1	4.2	22.9	

⑤ 現在の職場での一か月の給与額

設問：いまの仕事の1か月の給料はいくらですか？実際にもらうお金の平均を教えてください。
（1つだけ選択）

「10万円～15万円」が77.0%で最も高く、次いで「16万円～20万円」が13.8%となった。



【受入先業種別】

受入先業種別にみると、「小売業」以外の業種において、「10万円～15万円」の割合が最も高く、それぞれ約60%～90%となっている。

また、農業、製造業（自動車関係）については、「16万円～20万円」に対する回答がそれぞれ30%程度であった。

	サンプル数	10万円未満	10万円～15万円	16万円～20万円	21万円～25万円	26万円以上
上段:実数、下段:%						
全体	1,300	104	1,001	180	13	2
	100.0	8.0	77.0	13.8	1.0	0.2
現在の受け入れ先の業種	農業	44	3	29	12	0
		100.0	6.8	65.9	27.3	0.0
	漁業	14	1	13	0	0
		100.0	7.1	92.9	0.0	0.0
	建設業	90	20	65	4	1
		100.0	22.2	72.2	4.4	1.1
	製造業(繊維・衣服)	245	9	223	13	0
		100.0	3.7	91.0	5.3	0.0
	製造業(食品)	173	33	122	17	0
		100.0	19.1	70.5	9.8	0.0
	製造業(機械・金属)	174	10	132	29	2
	100.0	5.7	75.9	16.7	1.1	
製造業(造船)	186	5	157	16	8	
	100.0	2.7	84.4	8.6	4.3	
製造業(自動車関係)	212	12	130	70	0	
	100.0	5.7	61.3	33.0	0.0	
小売業	1	1	0	0	0	
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
介護	18	0	14	4	0	
	100.0	0.0	77.8	22.2	0.0	
その他	132	10	107	13	2	
	100.0	7.6	81.1	9.8	1.5	

【在留期間別】

在留期間別にみると、「困っていることはない」については、在留期間が長くなるほど割合が高くなる傾向がみられた。

一方、在留期間が1年未満の短い者と1年以上で長い者の日本語関連の項目についてみると、仕事で必要な日本語が「聞き取れない」、「話せない」、「読めない」、「仕事で必要な専門的な言葉がわからない」については、在留期間が短い者の割合が高い傾向となった。

また、「方言がわからない」についても、在留期間が1年未満の短い者の方が、長い者よりも高くなる傾向がみられた。

	サンプル数	仕事 が 難 しい	仕事 が 多 い	語 が 聞 き 取 れ な い 日 本	語 が 話 せ な い 日 本	語 が 読 め な い 日 本	語 が 書 け な い 日 本	的 な 言 語 が 必 要 な 専 門	方 言 が わ か ら な い	シ ョ ン が 取 れ な い	会 社 の 人 と 日 本 語	解 説 の ル ール が 理	ら （ 法 律 な ど ） を 知 る	日 本 の 雇 用 ル ー ル を 知 る	困 っ て い る こ と は な い	そ の 他
	上段:実数、下段:%															
全 体	1,271 100.0	45 3.5	52 4.1	165 13.0	130 10.2	95 7.5	54 4.2	94 7.4	315 24.8	220 17.3	25 2.0	78 6.1	472 37.1	64 5.0		
在 留 期 間	1年未満	315 100.0	19 6.0	8 2.5	92 29.2	46 14.6	41 13.0	14 4.4	40 12.7	103 32.7	66 21.0	3 1.0	8 2.5	78 24.8	10 3.2	
	1年	282 100.0	6 2.1	11 3.9	33 11.7	32 11.3	28 9.9	17 6.0	24 8.5	63 22.3	46 16.3	0 0.0	17 6.0	109 38.7	19 6.7	
	2年	436 100.0	14 3.2	19 4.4	28 6.4	33 7.6	17 3.9	12 2.8	15 3.4	100 22.9	84 19.3	15 3.4	32 7.3	169 38.8	24 5.5	
	3年	178 100.0	3 1.7	12 6.7	9 5.1	16 9.0	6 3.4	8 4.5	12 6.7	39 21.9	20 11.2	6 3.4	15 8.4	85 47.8	7 3.9	
	4年以上	40 100.0	2 5.0	2 5.0	0 0.0	1 2.5	1 5.0	2 5.0	1 2.5	5 12.5	3 7.5	1 2.5	4 10.0	23 57.5	3 7.5	

【日本語習熟度別】

習熟度別にみると、習熟度が高くなるにつれ「困っていることはない」とする者の割合が高く、習熟度が上がるにつれ困りごとが少なる傾向がみられた。

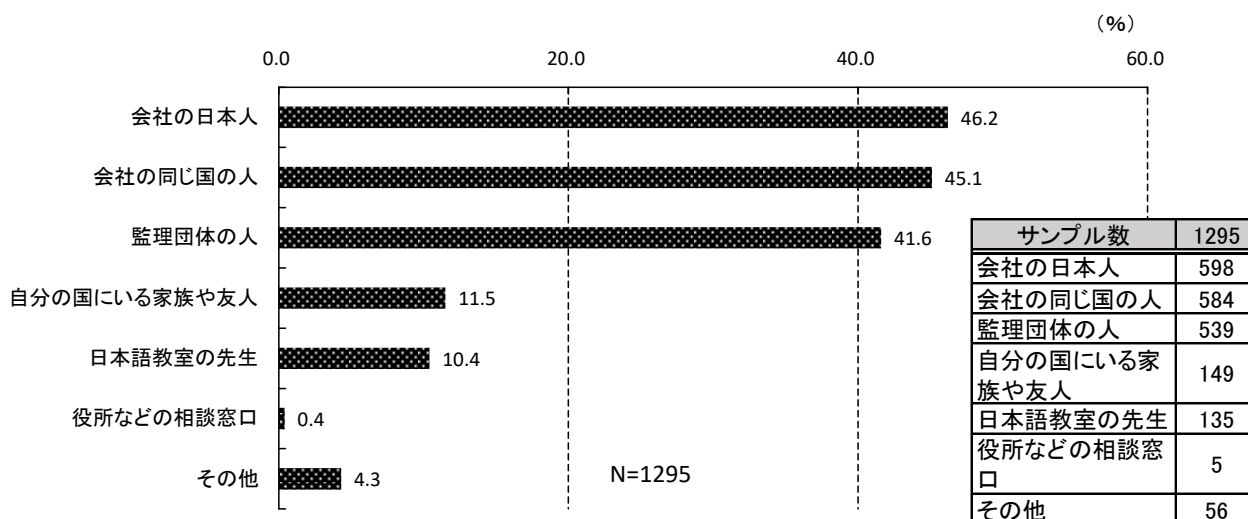
	サンプル数	仕事 が 難 しい	仕事 が 多 い	語 が 聞 き 取 れ な い 日 本	語 が 話 せ な い 日 本	語 が 読 め な い 日 本	語 が 書 け な い 日 本	的 な 言 語 が 必 要 な 専 門	方 言 が わ か ら な い	シ ョ ン が 取 れ な い	会 社 の 人 と 日 本 語	解 説 の ル ール が 理	ら （ 法 律 な ど ） を 知 る	日 本 の 雇 用 ル ー ル を 知 る	困 っ て い る こ と は な い	そ の 他
	上段:実数、下段:%															
全 体	1,271 100.0	45 3.5	52 4.1	165 13.0	130 10.2	95 7.5	54 4.2	94 7.4	315 24.8	220 17.3	25 2.0	78 6.1	472 37.1	64 5.0		
日 本 語 習 熟 度	習熟度【低】	349 100.0	18 5.2	17 4.9	46 13.2	42 12.0	23 6.6	18 5.2	32 9.2	92 26.4	87 24.9	10 2.9	26 7.4	106 30.4	15 4.3	
	習熟度【中】	646 100.0	20 3.1	24 3.7	78 12.1	58 9.0	53 8.2	29 4.5	46 7.1	162 25.1	96 14.9	12 1.9	30 4.6	252 39.0	40 6.2	
	習熟度【高】	95 100.0	2 2.1	2 2.1	7 7.4	5 5.3	4 4.2	0 0.0	3 3.2	22 23.2	8 8.4	1 1.1	7 7.4	52 54.7	3 3.2	

※調査対象者の主観に基づく回答を整理・類別した区分

⑦ 現在の職場で困っている際の相談相手

設問：仕事で困っているときに、誰に相談しますか？（複数回答可）

「会社の日本人」が46.2%で最も高く、次いで「会社の同じ国の人」が45.1%、「監理団体の人」が41.6%となっており、会社の日本人や同じ国の人、監理団体の人など、対面で相談できる身近な人を頼る者が多い結果となった。



【出身国別】

出身国別にみると、「会社の日本人」は、ベトナムとインドネシア、その他の国の出身者でそれぞれ50%以上と高くなっているが、フィリピン出身者では28.4%と低い結果となった。

「会社の同じ国の人」では、インドネシア出身者が70%程度で、他国出身者と比較して特に高くなっている。

また、「監理団体の人」では、インドネシア出身者が約60%と、他国出身者と比較して高い結果となった。

		サンプル数	会社の日本人	会社の同じ国の人	監理団体の人	役所などの相談窓口	自分や友人に在る	日本語教室の先生	その他
上段:実数、下段:%									
全体		1,295	598	584	539	5	149	135	56
		100.0	46.2	45.1	41.6	0.4	11.5	10.4	4.3
出身国	ベトナム	489	250	208	204	0	47	11	10
		100.0	51.1	42.5	41.7	0.0	9.6	2.2	2.0
	中国	494	214	212	192	4	75	101	35
		100.0	43.3	42.9	38.9	0.8	15.2	20.4	7.1
	フィリピン	148	42	69	51	1	21	15	9
	100.0	28.4	46.6	34.5	0.7	14.2	10.1	6.1	
インドネシア	101	58	69	60	0	3	8	0	
	100.0	57.4	68.3	59.4	0.0	3.0	7.9	0.0	
その他	55	32	21	28	0	3	0	2	
	100.0	58.2	38.2	50.9	0.0	5.5	0.0	3.6	

【職場で困っている際の相談相手の関係性】

職場で困っている際の相談相手について、他の選択肢への回答状況についてみると、相談相手が「その他」と回答した者以外では、約 30%~50%の者が「会社の日本人」や「会社の同じ国の人」、「監理団体の人」など、面談で相談できる身近な人にも頼ることが多い結果となった。

		サンプル数	会社の日本人	会社の同じ国の人	監理団体の人	役所などの相談窓口	自分の国にいる家族や友人	日本語教室の先生	その他
上段:実数、下段:%									
全体		1,295 100.0	598 46.2	584 45.1	539 41.6	5 0.4	149 11.5	135 10.4	56 4.3
仕事で困っているときの相談相手	会社の日本人	598 100.0	598 100.0	223 37.3	266 44.5	2 0.3	43 7.2	47 7.9	9 1.5
	会社の同じ国の人	584 100.0	223 38.2	584 100.0	165 28.3	2 0.3	58 9.9	50 8.6	12 2.1
	監理団体の人	539 100.0	266 49.4	165 30.6	539 100.0	4 0.7	44 8.2	38 7.1	5 0.9
	役所などの相談窓口	5 100.0	2 40.0	2 40.0	4 80.0	5 100.0	3 60.0	4 80.0	0 0.0
	自分の国にいる家族や友人	149 100.0	43 28.9	58 38.9	44 29.5	3 2.0	149 100.0	17 11.4	4 2.7
	日本語教室の先生	135 100.0	47 34.8	50 37.0	38 28.1	4 3.0	17 12.6	135 100.0	2 1.5
	その他	56 100.0	9 16.1	12 21.4	5 8.9	0 0.0	4 7.1	2 3.6	56 100.0

(3) 今後の日本での就労意向について

① 特定技能の認知度

設問：あなたは、2019年4月に新しくできた在留資格「特定技能」について知っていますか？
(1つだけ選択)

「知っている」が75.5%と、70%以上の者が特定技能を認知している結果となった。

出身国別にみると、ベトナム、中国、フィリピン、インドネシア出身者では「知っている」がそれぞれ70%以上で、特にインドネシア出身者では82.7%と高くなっている。

		サンプル数	知っている	知らない
上段:実数、下段:%				
全体		1,275 100.0	963 75.5	312 24.5
出身国	ベトナム	479 100.0	353 73.7	126 26.3
	中国	488 100.0	388 79.5	100 20.5
	フィリピン	148 100.0	113 76.4	35 23.6
	インドネシア	98 100.0	81 82.7	17 17.3
	その他	54 100.0	22 40.7	32 59.3

② 技能実習終了後の就労意向

設問：技能実習が終わったあとに、日本で働くことについて聞きます。

① あなたは、技能実習が終わったあとも、日本で働きたいですか？ (1つだけ選択)

「できれば働きたい」が81.4%で、80%以上の技能実習生が技能実習終了後も継続して日本での就労意向がある結果となった。

出身国別にみると、ベトナム、フィリピン、インドネシア、その他の国の出身者では「できれば働きたい」が約80%~90%、中国出身者では約70%という結果となった。

		サンプル数	できれば働きた	働きたくない
上段:実数、下段:%				
全体		1,277 100.0	1,040 81.4	237 18.6
出身国	ベトナム	482 100.0	421 87.3	61 12.7
	中国	487 100.0	337 69.2	150 30.8
	フィリピン	144 100.0	141 97.9	3 2.1
	インドネシア	101 100.0	84 83.2	17 16.8
	その他	55 100.0	51 92.7	4 7.3

【日本で継続して就労したいと思う理由（自由回答）】

日本で継続して就労したいと思う理由について、自由記述の回答を分類集約したところ、「お金を稼ぎたい」、「給料がいいから」、「貯金したいから」と、収入確保に関連する回答が最も多くなった。次いで、職場環境や生活環境がいいこと、日本の企業で経験を積みたいなどの意見も多くみられた。

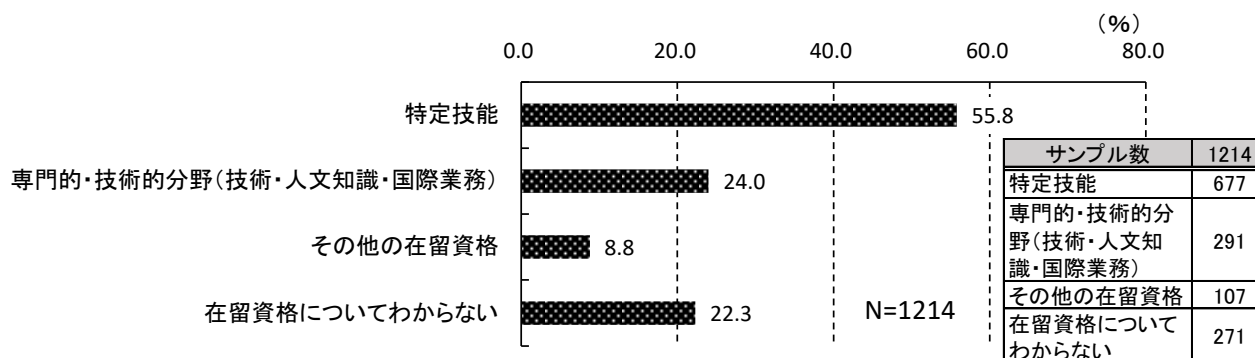
カテゴリNo.	カテゴリ名	件数
1	お金を稼ぎたいから、給料がいいから、貯金したいから	329
2	職場環境がいいから	142
3	日本でもっと経験を積みたい、技術を学びたいから	142
4	生活環境がいいから	117
5	日本が好きだから	79
6	日本語の勉強をしたいから	52
7	日本での生活・仕事に慣れたから	34

③ 就労する場合に活用したい在留資格

設問：技能実習が終わったあとに、日本で働くことについて聞きます。

② どの在留資格で働きたいですか？（複数回答可）

「特定技能」が 55.8%で最も高く、次いで「専門的・技術的分野（技術・人文知識・国際業務）」が 24.0%となっており、特定技能活用の意向が高い結果となった。



【出身国別】

出身国別にみると、「特定技能」活用意向は、フィリピン出身者が 82.6%、インドネシア出身者が 79.6%で、ベトナム、中国、その他の国の出身者と比較して特に高い結果となった。一方で、中国出身者では「専門的・技術的分野（技術・人文知識・国際業務）」が 34.1%で、他国出身者と比較して、高くなっている。また、中国とその他の国の出身者については「在留資格についてわからない」がそれぞれ 32.5%、28.0%となった。

出身国	サンプル数	活用意向 (%)				わからない (%)
		専門的・技術的分野(技術・人文知識・国際業務)	特定技能	その他の在留資格	在留資格についてわからない	
全体	1,214	24.0	55.8	8.8	22.3	
ベトナム	456	22.8	57.5	11.0	19.5	
中国	458	34.1	41.3	6.3	32.5	
フィリピン	144	11.1	82.6	5.6	4.9	
インドネシア	98	2.0	79.6	19.4	8.2	
その他	50	24.0	50.0	0.0	28.0	

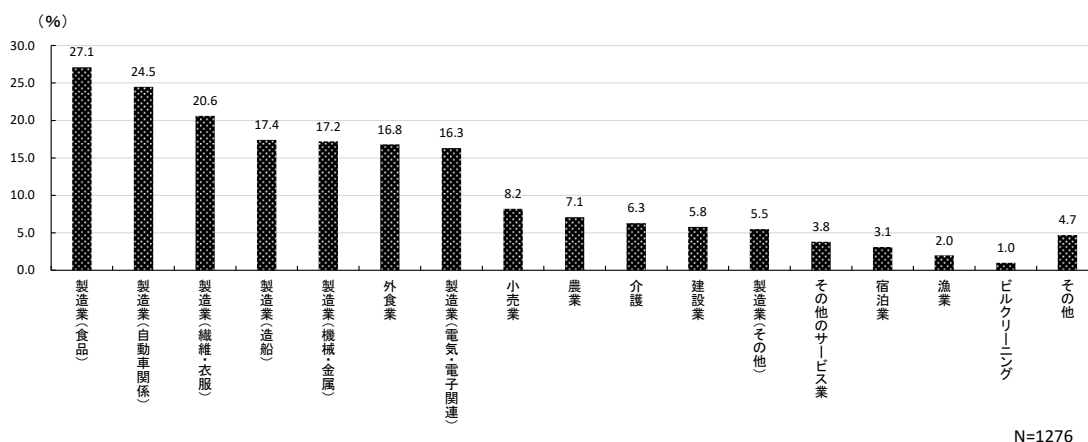
④ 就労希望業種

設問：技能実習が終わったあとに、日本で働くことについて聞きます。

③ どのような仕事をしたいですか？（3つまで複数回答可）

製造業関連の業種が上位7項目中6項目を占めるほか、「外食業」も16.8%で高くなっている。

サンプル数	製造業(食品)	製造業(自動車関係)	製造業(繊維・衣服)	製造業(造船)	製造業(機械・金属)	外食業	製造業(電気・電子関連)	小売業	農業
	346	313	263	222	220	215	208	104	91
1276	介護	建設業	製造業(その他)	その他	その他のサービス業	宿泊業	漁業	ビルクリーニング	
	81	74	70	60	48	39	25	13	



【出身国別】

出身国別に希望の多い業種をみると、ベトナム出身者では「製造業（食品）」が34.4%、「製造業（電気・電子関連）」が27.0%で、中国出身者では「製造業（繊維・衣服）」が31.9%、「製造業（食品）」が30.3%、「外食業」が22.5%、フィリピン出身者では「製造業（造船）」が46.7%、インドネシア出身者では「製造業（造船）」が58.6%で、「製造業（機械・金属）」が37.4%、となっている。

	サンプル数	農業	漁業	建設業	製造業(繊維・衣服)	製造業(食品)	製造業(機械・金属)	製造業(電気・電子関連)	製造業(造船)	製造業(自動車関係)	他製造業(その他)	小売業	宿泊業	外食業	介護	ビルクリーニング	その他のサービス業	その他	
		上段:実数、下段:%	上段:実数、下段:%	上段:実数、下段:%	上段:実数、下段:%	上段:実数、下段:%	上段:実数、下段:%	上段:実数、下段:%	上段:実数、下段:%	上段:実数、下段:%	上段:実数、下段:%	上段:実数、下段:%	上段:実数、下段:%	上段:実数、下段:%	上段:実数、下段:%	上段:実数、下段:%	上段:実数、下段:%	上段:実数、下段:%	
全体	1,276	91	25	74	263	346	220	208	222	313	70	104	39	215	81	13	48	60	
	100.0	7.1	2.0	5.8	20.6	27.1	17.2	16.3	17.4	24.5	5.5	8.2	3.1	16.8	6.3	1.0	3.8	4.7	
出身国	ベトナム	485	24	15	50	87	167	75	131	65	121	24	35	10	83	29	6	18	26
		100.0	4.9	3.1	10.3	17.9	34.4	15.5	27.0	13.4	24.9	4.9	7.2	2.1	17.1	6.0	1.2	3.7	5.4
	中国	479	39	3	15	153	145	54	55	24	123	21	58	16	108	28	0	22	17
		100.0	8.1	0.6	3.1	31.9	30.3	11.3	11.5	5.0	25.7	4.4	12.1	3.3	22.5	5.8	0.0	4.6	3.5
	フィリピン	150	18	5	7	3	18	40	10	70	29	14	3	2	15	5	5	6	11
	100.0	12.0	3.3	4.7	2.0	12.0	26.7	6.7	46.7	19.3	9.3	2.0	1.3	10.0	3.3	3.3	4.0	7.3	
インドネシア	99	3	2	2	3	5	37	7	58	26	4	3	10	5	12	1	1	1	
	100.0	3.0	2.0	2.0	3.0	5.1	37.4	7.1	58.6	26.3	4.0	3.0	10.1	5.1	12.1	1.0	1.0	1.0	
その他	55	7	0	0	14	10	13	3	2	11	6	5	1	3	7	1	1	5	
	100.0	12.7	0.0	0.0	25.5	18.2	23.6	5.5	3.6	20.0	10.9	9.1	1.8	5.5	12.7	1.8	1.8	9.1	

【現在の業種と希望業種】

今後日本で就業を継続する際の希望業種については、約 70%の技能実習生が、現在の実習先と同じ分野の業種で就労を希望する結果となった。特に、「製造業（繊維・衣服）」、「製造業（食品）」、「製造業（造船）」では、現在の実習先と同じ分野での就労を希望する者の割合がそれぞれ 80%以上と高い傾向となった。

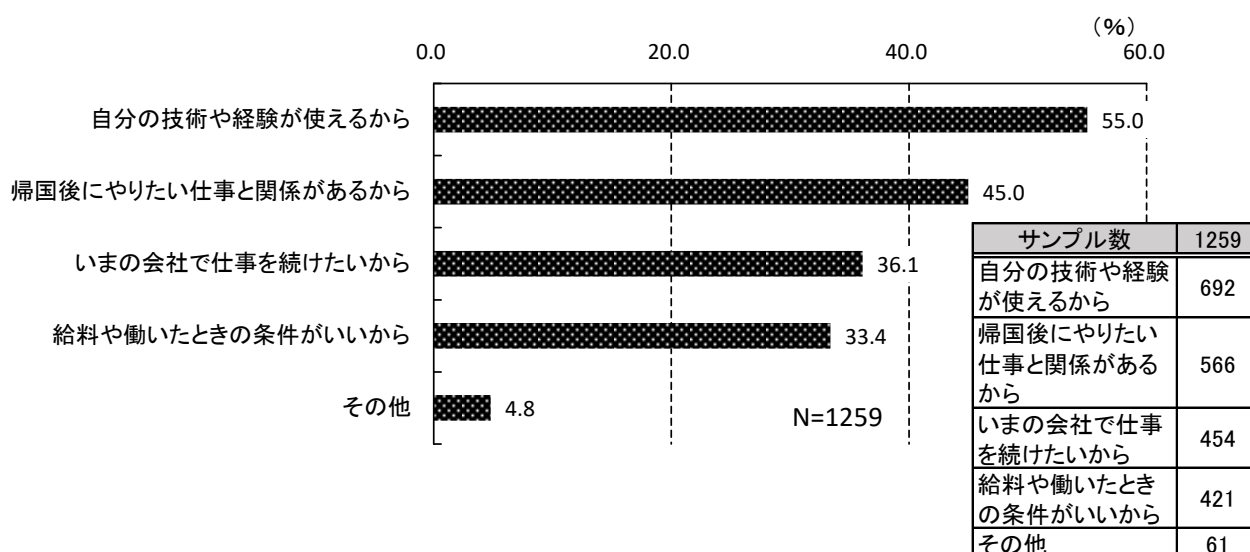
		今後就労する場合の希望業種																	現在と同業種への 就労志望者比率		
上段:実数、下段:%		サンプル数	農業	漁業	建設業	製造業（繊維・衣服）	製造業（食品）	製造業（機械・金属）	製造業（電気・電子関連）	製造業（造船）	製造業（自動車関係）	他製造業（その他）	小売業	宿泊業	外食業	介護	グビルクリーニング	その他のサービス		その他	
全体	1,276 100.0	91 7.1	25 2.0	74 5.8	263 20.6	346 27.1	220 17.2	208 16.3	222 17.4	313 24.5	70 5.5	104 8.2	39 3.1	215 16.8	81 6.3	13 1.0	48 3.8	60 4.7	898 70.4		
実習先の業種	農業	45 100.0	33 73.3	0 0.0	1 2.2	3 6.7	12 26.7	2 4.4	5 11.1	0 0.0	5 11.1	2 4.4	4 8.9	2 4.4	10 22.2	3 6.7	2 4.4	0 0.0	4 8.9	33 73.3	
	漁業	14 100.0	2 14.3	4 28.6	0 0.0	7 50.0	1 7.1	1 7.1	2 14.3	1 7.1	0 0.0	0 0.0	1 7.1	0 0.0	1 7.1	0 0.0	14.3	2 14.3	1 7.1	0 0.0	4 28.6
	建設業	87 100.0	8 9.2	2 2.3	52 59.8	2 2.3	20 23.0	11 12.6	31 35.6	3 3.4	23 26.4	6 6.9	3 3.4	3 3.4	6 6.9	1 1.1	0 0.0	3 3.4	1 1.1	52 59.8	
	製造業（繊維・衣服）	230 100.0	7 3.0	4 1.7	3 1.3	199 86.5	46 20.0	5 2.2	10 4.3	2 0.9	8 3.5	9 3.9	17 7.4	1 0.4	41 17.8	18 7.8	2 0.9	4 1.7	3 1.3	199 86.5	
	製造業（食品）	173 100.0	12 6.9	5 2.9	2 1.2	15 8.7	142 82.1	7 4.0	37 21.4	5 2.9	21 12.1	5 2.9	21 12.1	7 4.0	53 30.6	13 7.5	4 2.3	10 5.8	9 5.2	142 82.1	
	製造業（機械・金属）	172 100.0	4 2.3	2 1.2	6 3.5	7 4.1	24 14.0	133 77.3	28 16.3	26 15.1	43 25.0	14 8.1	11 6.4	7 4.1	18 10.5	5 2.9	2 1.2	4 2.3	4 2.3	133 77.3	
	製造業（造船）	186 100.0	11 5.9	6 3.2	9 4.8	3 1.6	11 5.9	34 18.3	24 12.9	172 92.5	45 24.2	11 5.9	3 1.6	6 3.2	3 1.6	0 0.0	0 0.0	1 0.5	4 2.2	0 0.0	172 92.5
	製造業（自動車関係）	213 100.0	8 3.8	1 0.5	0 0.0	12 5.6	51 23.9	15 7.0	36 16.9	0 0.0	145 68.1	7 3.3	37 17.4	9 4.2	52 24.4	15 7.0	0 0.0	11 5.2	10 4.7	145 68.1	
	小売業	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
	介護	18 100.0	4 22.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.6	18 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	18 100.0
その他	127 100.0	1 0.8	1 0.8	0 0.0	11 8.7	34 26.8	11 8.7	32 25.2	12 9.4	18 14.2	16 12.6	7 5.5	2 1.6	28 22.0	8 6.3	0 0.0	9 7.1	29 22.8			

⑤ 就労希望業種を選択した理由

設問：技能実習が終わったあとに、日本で働くことについて聞きます。

④ 『③』で○をつけた仕事を選んだ理由は何ですか？（3つまで複数回答可）

「自分の技術や経験が使えるから」が55.0%で最も高く、次いで「帰国後にやりたい仕事と関係があるから」が45.0%、「いまの会社で仕事を続けたいから」が36.1%となっており、自身の能力を生かしたい、今の会社で続けたいなど、現在の実習先と同じ分野の業種で継続して就労を希望する者が多いことが裏付けられた。



【出身国別】

出身国別にみると、フィリピンとインドネシア出身者では「自分の技術や経験が使えるから」がそれぞれ68.5%、66.3%で、他国出身者と比較して高い。ベトナム、フィリピン、その他の国の出身者では「いまの会社で仕事を続けたいから」がそれぞれ40%以上となっている。

また、ベトナム出身者については、「帰国後にやりたい仕事と関係があるから」が50%程度で、他国出身者よりも日本での経験、技術を自国に持ち帰って活用したいと考える者が多い傾向がみられた。

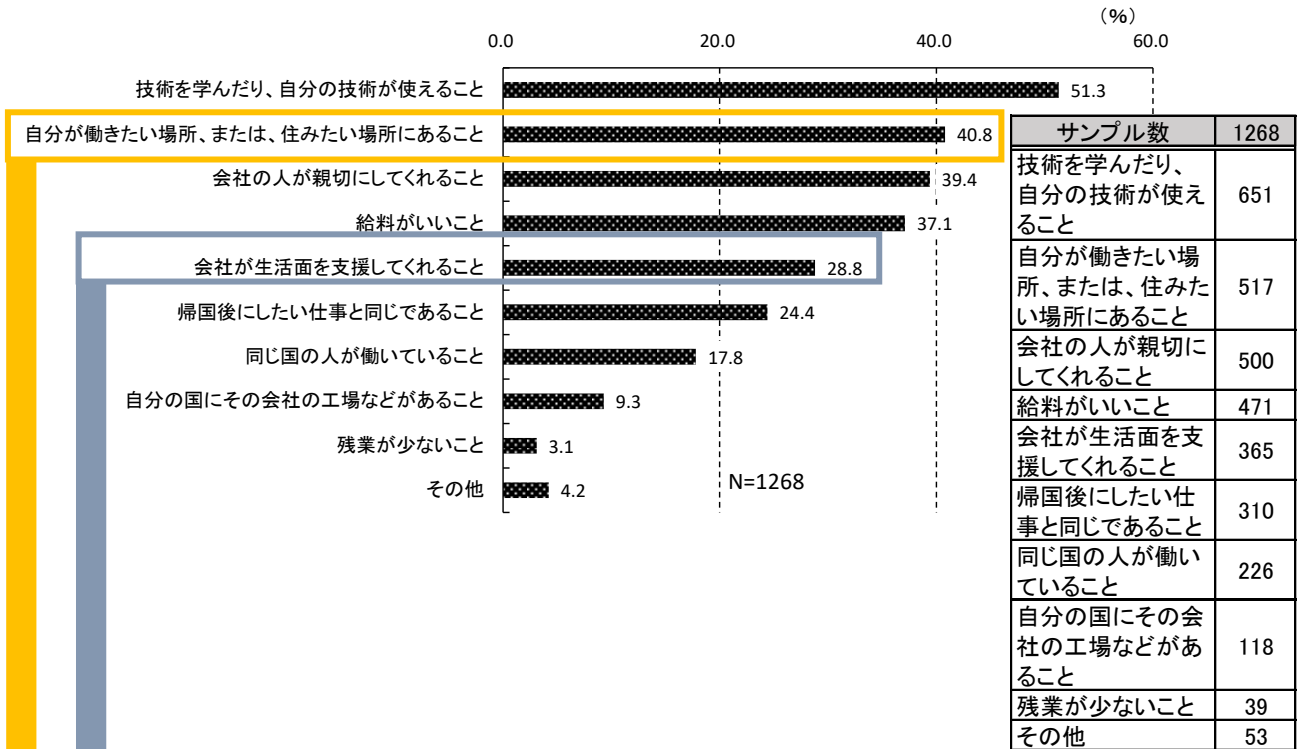
	サンプル数	自分の技術や経験が使えるから	帰国後にやりたい仕事と関係があるから	給料や働いたときの条件がいいから	いまの会社で仕事を続けたいから	その他	
上段:実数、下段:%							
全体	1,259	692	566	421	454	61	
	100.0	55.0	45.0	33.4	36.1	4.8	
出身国	ベトナム	481	263	249	154	204	21
		100.0	54.7	51.8	32.0	42.4	4.4
	中国	472	239	188	161	143	31
		100.0	50.6	39.8	34.1	30.3	6.6
	フィリピン	146	100	68	53	60	5
		100.0	68.5	46.6	36.3	41.1	3.4
インドネシア	98	65	41	33	20	3	
	100.0	66.3	41.8	33.7	20.4	3.1	
その他	54	20	17	18	24	1	
	100.0	37.0	31.5	33.3	44.4	1.9	

⑥ 働く企業を選ぶ際に重視する条件と、希望する就労・居住地域

設問：技能実習が終わったあとに、日本で働くことについて聞きます。

⑤ 働く会社を選ぶときは、何が大事ですか？（3つまで複数回答可）

「技術を学んだり、自分の技術が使えること」が51.3%で最も高く、次いで「自分が働きたい場所、または、住みたい場所にあること」が40.8%、「会社の人が親切にしてくれること」が39.4%と、給料以外の条件が上位3項目を占めた。



【希望する会社からの支援内容】（「会社が生活面を支援してくれること」選択者のみ）

働く会社の選択基準について「会社が生活面を支援してくれること」を選択した回答者に希望する支援内容をたずねたところ、「家を借りること」が62.2%で最も高く、次いで「日本語の勉強」が46.3%となった。

出身国別にみると、インドネシア、フィリピン、ベトナム出身者では「日本語の勉強」、中国、ベトナム出身者では「家を借りること」がそれぞれ高く、出身国で希望する支援内容のウェイトに差がみられた。

	サンプル数	日本語の勉強	家を借りること	その他	
上段:実数、下段:%					
全体	164	76	102	11	
	100.0	46.3	62.2	6.7	
出身国	ベトナム	70	40	40	4
		100.0	57.1	57.1	5.7
	中国	63	18	48	7
		100.0	28.6	76.2	11.1
	フィリピン	17	10	7	0
	100.0	58.8	41.2	0.0	
インドネシア	11	7	4	0	
	100.0	63.6	36.4	0.0	
その他	3	1	3	0	
	100.0	33.3	100.0	0.0	



【希望する就労・居住地域】（「自分が働きたい場所、または、住みたい場所にあること」選択者のみ）

働く会社の選択基準について「自分が働きたい場所、または、住みたい場所にあること」を選択した回答者に希望する地域をたずねたところ、「広島県内」が57.0%で、東京・大阪を抑えた。

出身国別にみると、ベトナム、フィリピン、インドネシア、その他の国の出身者で「広島県内」が最も高いが、中国では「東京」が43.4%と、わずかな差で最も高い結果となった。

		サンプル数	広島県内	東京	大阪	その他
上段:実数、下段:%						
全体		509 100.0	290 57.0	160 31.4	52 10.2	7 1.4
出身国	ベトナム	185 100.0	120 64.9	46 24.9	18 9.7	1 0.5
	中国	226 100.0	96 42.5	98 43.4	28 12.4	4 1.8
	フィリピン	52 100.0	36 69.2	12 23.1	2 3.8	2 3.8
	インドネシア	26 100.0	23 88.5	2 7.7	1 3.8	0 0.0
	その他	19 100.0	14 73.7	2 10.5	3 15.8	0 0.0

【出身国別】

出身国別に働く企業を選ぶ際に重視する条件をみると、フィリピンとインドネシア出身者では「技術を学んだり、自分の技術が使えること」がそれぞれ75.2%、64.0%で、他国出身者と比較して特に高くなっている。ベトナム、中国の国の出身者では「会社の人が親切にしてくれること」がそれぞれ40%以上と高く、他国出身者よりも人間関係を重視する傾向が強い結果となった。また、就労・居住希望地域で「東京」が最多であった中国出身者については「自分が働きたい場所、または、住みたい場所にあること」が47.9%で、他国出身者と比較して高い結果となった。

		サンプル数	自分の技術を学んだり、自分の技術が使えること	帰国後にしたい仕事	自分の国にその会社	残業が少ないこと	給料がいいこと	会社が生活面を支援してくれること	会社の人と親切にしたい	同じ国の人と一緒に働く場所	自分が働きたい場所	その他
上段:実数、下段:%												
全体		1,268 100.0	651 51.3	310 24.4	118 9.3	39 3.1	471 37.1	365 28.8	500 39.4	226 17.8	517 40.8	53 4.2
出身国	ベトナム	481 100.0	228 47.4	123 25.6	47 9.8	4 0.8	192 39.9	179 37.2	212 44.1	90 18.7	188 39.1	12 2.5
	中国	480 100.0	230 47.9	106 22.1	29 6.0	33 6.9	159 33.1	117 24.4	207 43.1	90 18.8	230 47.9	31 6.5
	フィリピン	149 100.0	112 75.2	50 33.6	27 18.1	1 0.7	53 35.6	33 22.1	41 27.5	16 10.7	53 35.6	3 2.0
	インドネシア	100 100.0	64 64.0	23 23.0	1 1.0	0 0.0	51 51.0	22 22.0	18 18.0	25 25.0	26 26.0	4 4.0
	その他	50 100.0	16 32.0	5 10.0	13 26.0	1 2.0	15 30.0	9 18.0	20 40.0	4 8.0	19 38.0	2 4.0

【希望する就労・居住地域を選択した理由（自由回答）】

希望する就労・居住地域を選択した理由について、自由記述の回答を分類集約したところ、広島県内希望者においては「生活環境がいい」、「広島での生活に慣れた」、「生活費が安い」など、生活環境に対する評価が理由となっている傾向が見られた。

一方、東京を希望した者については「給料の高さ」や「繁栄している、賑わっている」などを理由としている者が多い傾向となった。

広島県内希望者		
カテゴリNo	カテゴリ名	件数
1	生活環境がいいから	32
2	広島での生活に慣れたから	19
3	生活費が安いから	14
東京希望者		
カテゴリNo	カテゴリ名	件数
1	給料が安定している、高いから	23
2	繁栄している、賑わっているから	18
3	日本の首都・中心部だから	12

⑦ **仕事のために勉強したい技術や知識の有無**

設問：あなたは、今後、仕事のために、勉強したい技術や知識はありますか？
（1つだけ選択）

「ある」が75.2%で、70%以上の技能実習生が仕事のために学習したいことがあるという結果となった。

出身国別にみると、中国とその他の国の出身者で学習したいことが「ある」者の割合が、他と比較して低い傾向となった。

		サンプル数	ある	ない
上段:実数、下段:%				
全体		1,248 100.0	939 75.2	309 24.8
出身国	ベトナム	470 100.0	398 84.7	72 15.3
	中国	479 100.0	324 67.6	155 32.4
	フィリピン	141 100.0	104 73.8	37 26.2
	インドネシア	97 100.0	82 84.5	15 15.5
	その他	54 100.0	24 44.4	30 55.6

【仕事のために勉強したい技術や知識について（自由回答）】

仕事のために勉強したい技術や知識が「ある」と回答した者の、どのようなことを学びたいか自由記述の回答を分類集約したところ、**「日本語」**が232件で最も多い結果となった。

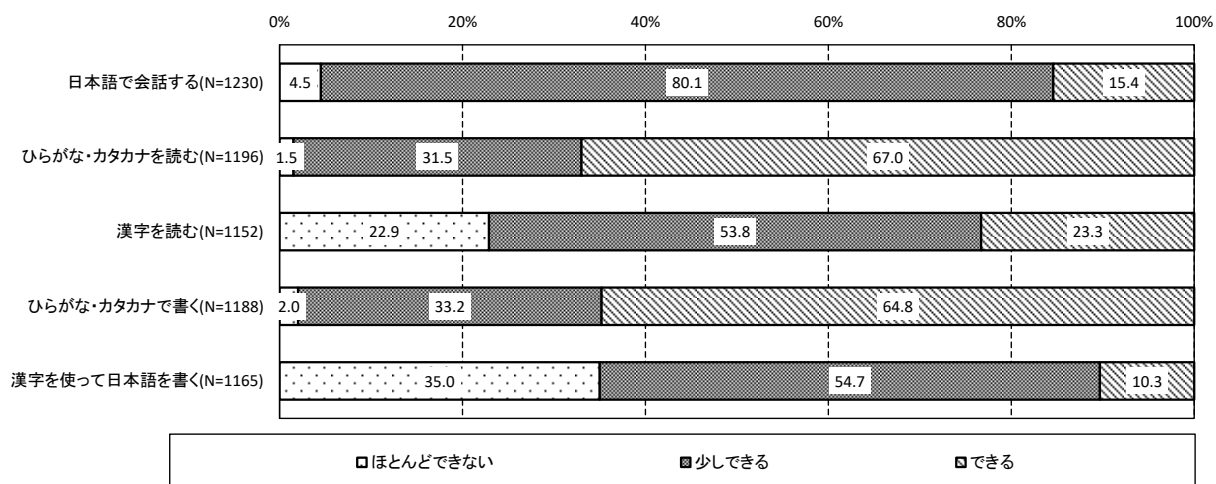
カテゴリNo	カテゴリ名	件数
1	日本語	232
2	溶接関連	44
3	機械関連	36
4	縫製関連	25
5	介護関連	18
6	自動車関連	18
7	造船関連	12
8	電気・電子関連	8
9	CNC関連	7
10	農業関連	7

(4) 日本語の学習について

① 日本語の習熟度

設問：あなたは、下の表のことが、どのくらいできますか？
 （それぞれの内容について、1つだけ選択）

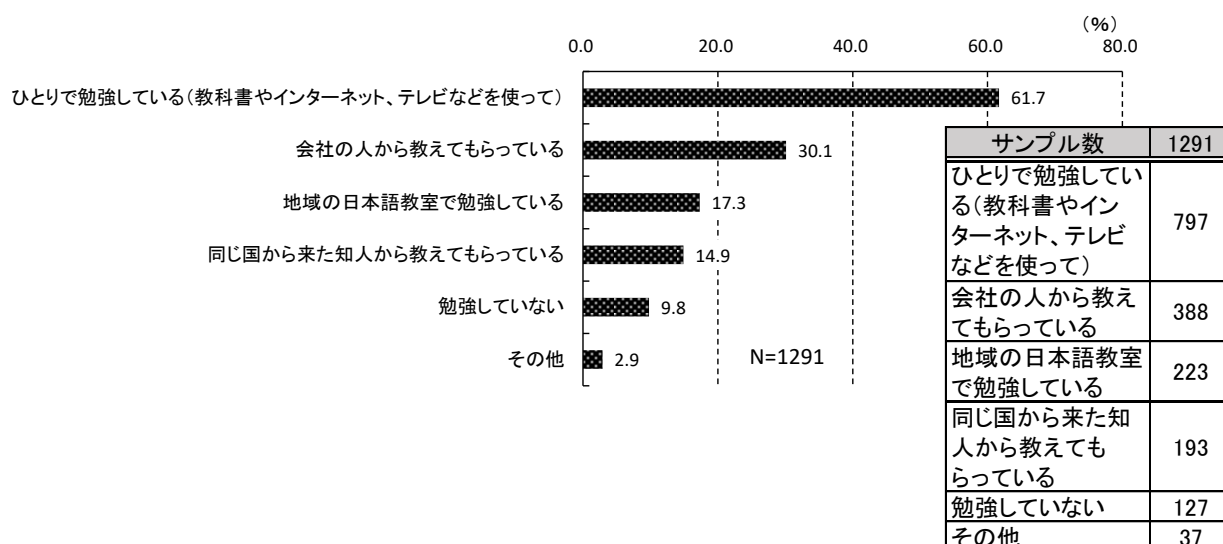
日本語での会話は「少しできる」が80.1%、ひらがな・カタカナを「読む」、「書く」についてはそれぞれ60%以上の者が「できる」と回答している。



② 日本語の学習状況

設問：あなたは、日本に来てから、日本語を勉強していますか？（複数回答可）

「ひとりで勉強している（教科書やインターネット、テレビなどを使って）」が61.7%で最も高く、次いで「会社の人から教えてもらっている」が30.1%、「地域の日本語教室で勉強している」が17.3%となった。



【出身国別】

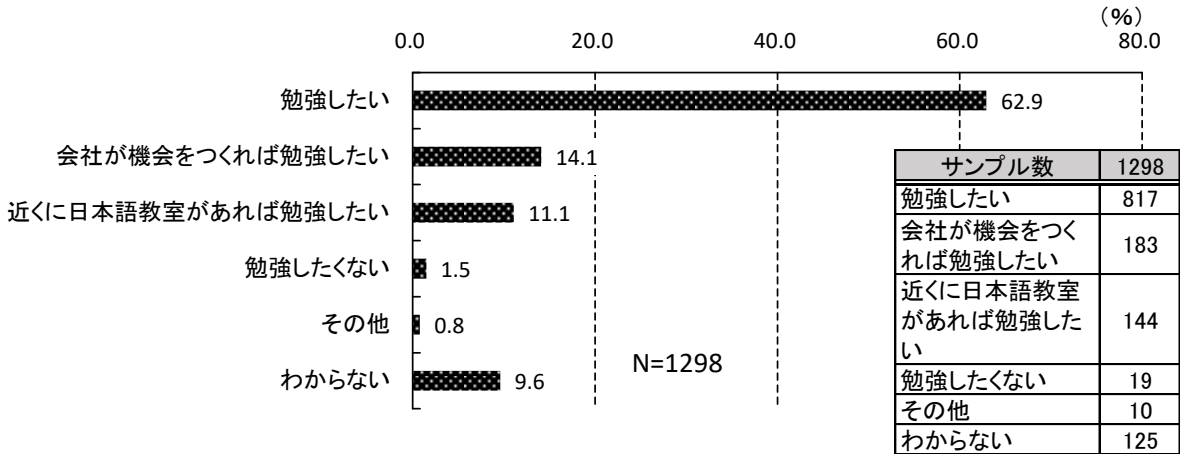
出身国別にみると、ベトナムとインドネシア出身者では「ひとりで勉強している（教科書やインターネット、テレビなどを使って）」がそれぞれ77.1%、84.0%で、他国出身者と比較して割合が高い傾向となった。一方、フィリピン出身者では「地域の日本語教室で勉強している」が51.7%、中国とその他の国の出身者では「会社の人から教えてもらっている」がそれぞれ45.3%、50.0%で、ベトナムやインドネシア出身者と比較して「ひとりで勉強」以外の方法での学習機会が多い傾向となった。

	サンプル数	学習方法						
		ひとりで勉強している(教科書やインターネット、テレビなどを使って)	地域の日本語教室で勉強している	会社の人から教えてもらっている	同じ国から来た知人から教えてもらっている	勉強していない	その他	
上段:実数、下段:%								
全体	1,291 100.0	797 61.7	223 17.3	388 30.1	193 14.9	127 9.8	37 2.9	
出身国	ベトナム	490 100.0	378 77.1	84 17.1	96 19.6	58 11.8	34 6.9	8 1.6
	中国	492 100.0	248 50.4	25 5.1	223 45.3	86 17.5	78 15.9	18 3.7
	フィリピン	147 100.0	53 36.1	76 51.7	22 15.0	14 9.5	2 1.4	8 5.4
	インドネシア	100 100.0	84 84.0	35 35.0	17 17.0	27 27.0	1 1.0	0 0.0
	その他	54 100.0	29 53.7	2 3.7	27 50.0	7 13.0	12 22.2	3 5.6

③ **日本語の学習意向**

設問：あなたは、これから日本語を勉強したいと思いますか？（1つだけ選択）

今後も日本語を「勉強したい」が62.9%で最も高く、会社の支援や日本語教室に通える環境があれば勉強したい人も含めると、約90%の技能実習生が日本語の学習意欲があるという結果となった。



【出身国別】

出身国別にみると、ベトナム出身者では「勉強したい」が70.9%で他の国と比較して高くなっている。

一方、フィリピン出身者では「会社が機会をつくれれば勉強したい」が42.6%、インドネシア出身者では「近くに日本語教室があれば勉強したい」が42.6%と、他国出身者と比較して、条件があれば日本語を学習したいと回答している技能実習生の割合が高い傾向となった。

	サンプル数	勉強したい	会社が機会をつくれれば勉強したい	近くに日本語教室があれば勉強したい	勉強したくない	わからない	その他	
上段:実数、下段:%								
全体	1,298 100.0	817 62.9	183 14.1	144 11.1	19 1.5	125 9.6	10 0.8	
出身国	ベトナム	492 100.0	349 70.9	49 10.0	60 12.2	4 0.8	25 5.1	5 1.0
	中国	494 100.0	299 60.5	66 13.4	30 6.1	9 1.8	87 17.6	3 0.6
	フィリピン	148 100.0	68 45.9	63 42.6	7 4.7	1 0.7	7 4.7	2 1.4
	インドネシア	101 100.0	52 51.5	5 5.0	43 42.6	0 0.0	1 1.0	0 0.0
	その他	55 100.0	43 78.2	0 0.0	2 3.6	5 9.1	5 9.1	0 0.0

【日本語習熟度別】

日本語習熟度別にみると、「勉強したい」の割合は、習熟度が高くなるにつれ、高くなる傾向がみられた。

	サンプル数	勉強したい	会社が機会をつくれれば勉強したい	近くに日本語教室があれば勉強したい	勉強したくない	わからない	その他	
上段:実数、下段:%								
全体	1,298 100.0	817 62.9	183 14.1	144 11.1	19 1.5	125 9.6	10 0.8	
日本語習熟度	習熟度【低】	359 100.0	206 57.4	60 16.7	29 8.1	8 2.2	52 14.5	4 1.1
	習熟度【中】	660 100.0	417 63.2	96 14.5	89 13.5	8 1.2	45 6.8	5 0.8
	※調査対象者のうち、習熟度【高】に該当する者は97名（7.4%）であり、このうち「勉強したい」と回答した者は77名（79.7%）であった。	97 100.0	77 79.7	6 6.2	7 7.2	1 1.0	6 6.2	0 0.0

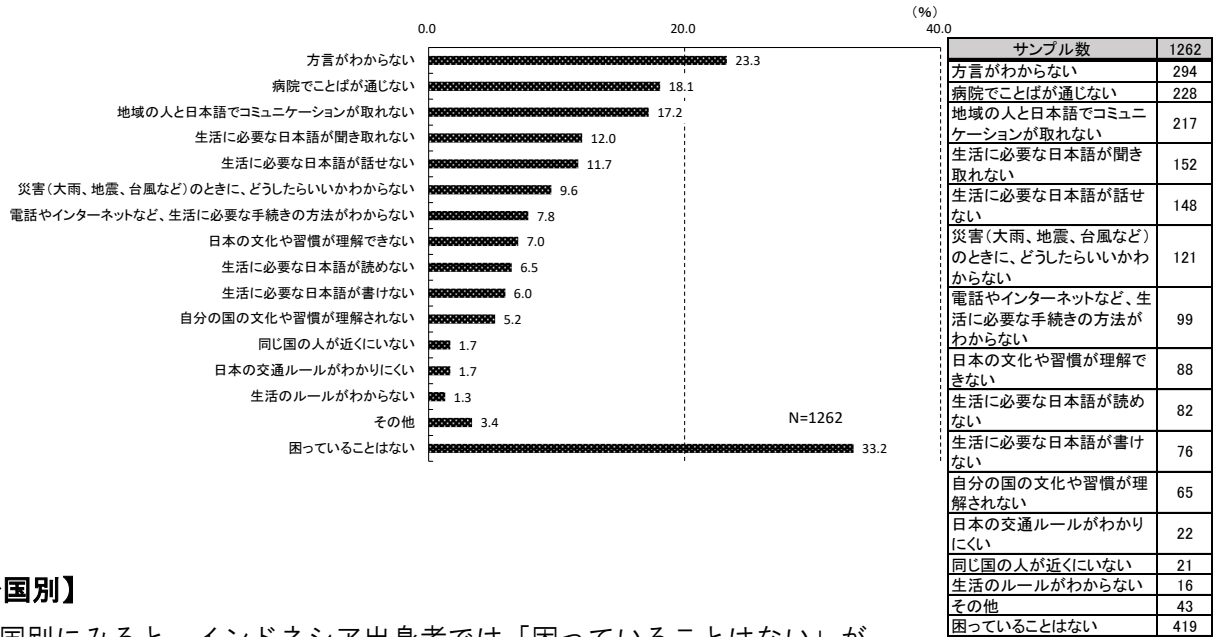
(5) 技能実習生の普段の生活状況について

① 普段の生活の中で困っていること

設問：最近（6か月以内）、仕事以外で、困ったことや不安なことは何ですか？（複数回答可）

「困っていることはない」が33.2%で最も高くなっているものの、66.8%は何らかの困りごとがあると回答している。

困りごとの内容としては、「方言がわからない」が23.3%、「病院でことばが通じない」が18.1%、「地域の人とコミュニケーションがとれない」が17.2%となっている。



【出身国別】

出身国別にみると、インドネシア出身者では「困っていることはない」が61.0%で、他国出身者と比較して特に高くなっている。

「地域の人と日本語でコミュニケーションがとれない」では、ベトナム、中国、フィリピン出身者でそれぞれ15%~20%程度に対し、インドネシア、その他の国の出身者では、それぞれ10%未満となった。

また、「病院でことばが通じない」では、ベトナムと中国出身者で20%程度に対し、フィリピン、インドネシア、その他の国の出身者では、それぞれ10%未満という結果となった。

出身国	サンプル数	聞き取れない	話せない	読めない	書けない	方言がわからない	地域の人と日本語でコミュニケーションがとれない	日本の文化や習慣が理解できない	生活に必要な日本語が読めない	生活に必要な日本語が書けない	自分の国の文化や習慣が理解されない	同じ国の人が近くにいない	生活のルールがわからない	日本の交通ルールがわかりにくい	病院でことばが通じない	災害(大雨、地震、台風など)のときに、どうしたらいいかわからない	電話やインターネットなど、生活に必要な手続きの方法がわからない	困っていることはない	その他
		割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)
全体	1,262	12.0	11.7	6.5	6.0	23.3	17.2	7.0	6.5	6.0	5.2	1.7	1.3	18.1	9.6	7.8	33.2	43	
ベトナム	480	11.9	12.5	5.6	6.0	22.5	15.6	9.2	2.1	1.7	1.0	2.1	1.7	17.9	7.7	10.4	31.0	23	
中国	482	15.8	13.5	6.0	6.2	27.0	22.4	5.8	7.3	0.8	1.7	1.0	2.4	24.7	9.5	7.9	33.4	14	
フィリピン	139	8.6	8.6	12.2	6.5	15.8	20.1	3.6	5.8	4.3	1.4	1.4	7.2	4.3	14.4	25.2	35	5	
インドネシア	100	0.0	3.0	0.0	1.0	22.0	2.0	2.0	9.0	2.0	0.0	0.0	8.0	5.0	4.0	61.0	0	0	
その他	53	13.2	15.1	17.0	11.3	18.9	5.7	13.2	5.7	1.9	1.9	9.4	7.5	5.7	15.1	20.8	0	0	

【在留期間別】

在留期間が1年未満の短い者と、在留期間が1年以上の長い者とみると、在留期間が長くなるほど「困っていることはない」の割合が高くなる傾向にある。

日本語の面では、生活に必要な日本語が「聞き取れない」、「話せない」、「読めない」などの項目については、在留期間が1年未満の者が1年以上の者よりも高い傾向がみられた。「方言がわからない」、「病院でことばが通じない」については、在留期間が1年以上の者はその期間が長くなっても、あまり低減していない結果となった。

		サンプル数	生活に必要な日本語が聞き取れない	生活に必要な日本語が話せない	生活に必要な日本語が読めない	生活に必要な日本語が書けない	方言がわからない	地域の人と日本語でコミュニケーションが取れない	日本の文化や習慣が理解できない	自分の国の文化や習慣が理解されない	同じ国の人と近くにいる	生活のルールがわからない	日本の交通ルールがわからない	病院でことばが通じない	電話やインターネットなど、生活に必要な手続きの方法がわからない	災害（大雨、地震、台風など）のときに、どうしたらいいかわからない	困っていることはない	その他
上段:実数, 下段:%																		
全体		1,262 100.0	152 12.0	148 11.7	82 6.5	76 6.0	294 23.3	217 17.2	88 7.0	65 5.2	21 1.7	16 1.3	22 1.7	228 18.1	99 7.8	121 9.6	419 33.2	43 3.4
在留期間	1年未満	315 100.0	64 20.3	54 17.1	37 11.7	26 8.3	103 32.7	60 19.0	21 6.7	8 2.5	9 2.9	7 2.2	0 0.0	48 15.2	22 7.0	39 12.4	84 26.7	7 2.2
	1年	283 100.0	26 9.2	26 9.2	20 7.1	16 5.7	61 21.6	53 18.7	27 9.5	12 4.2	3 1.1	3 1.1	12 4.2	50 17.7	24 8.5	23 8.1	95 33.6	9 3.2
	2年	429 100.0	42 9.8	48 11.2	21 4.9	17 4.0	81 18.9	72 16.8	24 5.6	27 6.3	5 1.2	3 0.7	5 1.2	88 20.5	33 7.7	39 9.1	148 34.5	19 4.4
	3年	178 100.0	16 9.0	17 9.6	4 2.2	12 6.7	37 20.8	26 14.6	13 7.3	12 6.7	3 1.7	3 1.7	3 1.7	38 21.3	15 8.4	14 7.9	70 39.3	5 2.8
	4年以上	39 100.0	2 5.1	1 2.6	0 0.0	3 7.7	7 17.9	5 12.8	2 5.1	3 7.7	1 2.6	0 0.0	2 5.1	4 10.3	5 12.8	3 7.7	16 41.0	2 5.1

【日本語習熟度別】

日本語習熟度別にみると、職場での困りごとと同様に、習熟度が上がるほど「困っていることはない」とする者の割合が高くなっており、困りごとが少なくなる傾向となった。一方で、「方言がわからない」、「病院でことばが通じない」と回答する者の割合は、習熟度に高くなってもほとんど低減しないという結果となった。

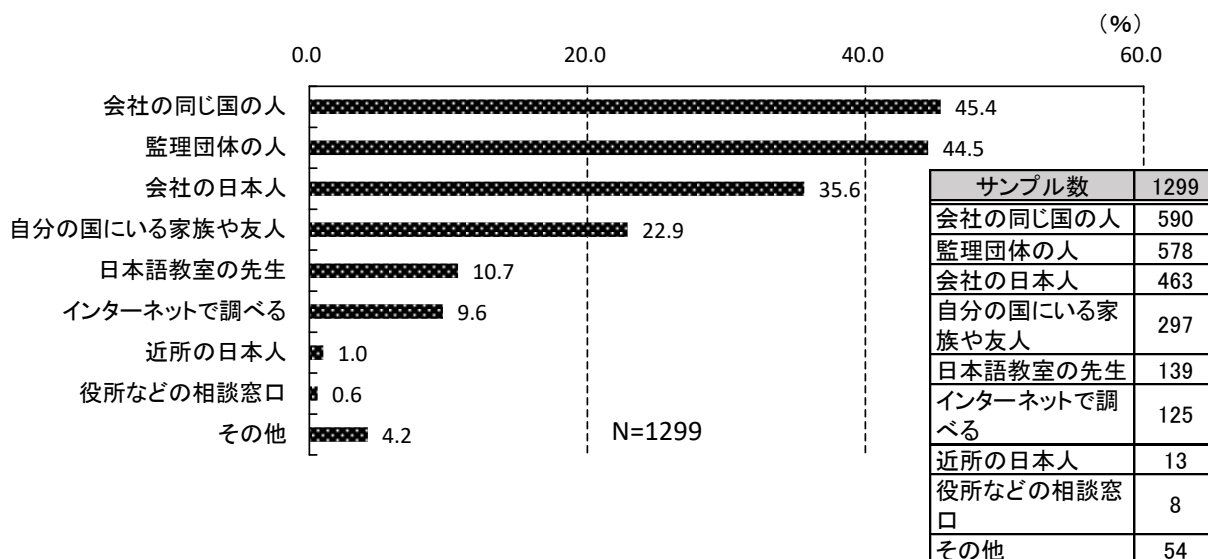
		サンプル数	生活に必要な日本語が聞き取れない	生活に必要な日本語が話せない	生活に必要な日本語が読めない	生活に必要な日本語が書けない	方言がわからない	地域の人と日本語でコミュニケーションが取れない	日本の文化や習慣が理解できない	自分の国の文化や習慣が理解されない	同じ国の人と近くにいる	生活のルールがわからない	日本の交通ルールがわからない	病院でことばが通じない	電話やインターネットなど、生活に必要な手続きの方法がわからない	災害（大雨、地震、台風など）のときに、どうしたらいいかわからない	困っていることはない	その他
上段:実数, 下段:%																		
全体		1,262 100.0	152 12.0	148 11.7	82 6.5	76 6.0	294 23.3	217 17.2	88 7.0	65 5.2	21 1.7	16 1.3	22 1.7	228 18.1	99 7.8	121 9.6	419 33.2	43 3.4
日本語習熟度	習熟度【低】	346 100.0	39 11.3	39 11.3	28 8.1	28 8.1	74 21.4	68 19.7	29 8.4	20 5.8	6 1.7	3 0.9	13 3.8	61 17.6	29 8.4	40 11.6	103 29.8	7 2.0
	習熟度【中】	645 100.0	76 11.8	81 12.6	45 7.0	39 6.0	162 25.1	104 16.1	41 6.4	36 5.6	9 1.4	9 1.4	5 0.8	121 18.8	49 7.6	63 9.8	218 33.8	28 4.3
	習熟度【高】	95 100.0	7 7.4	8 8.4	2 2.1	2 2.1	22 23.2	8 8.4	6 6.3	3 3.2	0 0.0	1 1.1	3 3.2	17 17.9	9 9.5	5 5.3	46 48.4	2 2.1

※調査対象者の主観に基づく回答を整理・類別した区分

② 普段の生活において困っていることの相談相手

設問：仕事以外で、困っているときに、誰に相談しますか？（複数回答可）

「会社の同じ国の人」が45.4%で最も高く、次いで「監理団体の人」が44.5%、「会社の日本人」が35.6%で、仕事における困りごとの相談相手と同様に、インターネット等の活用なしでも対面で相談できる身近な人へ相談する者の割合が高い傾向となった。



【出身国別】

出身国別にみると、インドネシア出身者では「会社の同じ国の人」が70.0%「監理団体の人」54.0%と、それぞれ他国出身者と比較して高い結果となった。

また、フィリピン出身者については「会社の日本人」が15.3%と他国出身者と比較して特に低くなっている。

	サンプル数	会社の日本人	会社の同じ国の	監理団体の人	役所などの相談窓口	インターネットで調べる	自分の国にいる家族や友人	日本語教室の先生	近所の日本人	その他	
											上段:実数、下段:%
全体	1,299	463	590	578	8	125	297	139	13	54	
	100.0	35.6	45.4	44.5	0.6	9.6	22.9	10.7	1.0	4.2	
出身国	ベトナム	493	201	218	237	1	77	126	14	4	8
		100.0	40.8	44.2	48.1	0.2	15.6	25.6	2.8	0.8	1.6
	中国	494	168	220	205	6	30	107	98	4	36
		100.0	34.0	44.5	41.5	1.2	6.1	21.7	19.8	0.8	7.3
	フィリピン	150	23	57	54	0	13	44	18	1	10
	100.0	15.3	38.0	36.0	0.0	8.7	29.3	12.0	0.7	6.7	
インドネシア	100	39	70	54	0	3	14	9	3	0	
	100.0	39.0	70.0	54.0	0.0	3.0	14.0	9.0	3.0	0.0	
その他	54	30	22	23	1	1	5	0	1	0	
	100.0	55.6	40.7	42.6	1.9	1.9	9.3	0.0	1.9	0.0	

【普段の生活の中で困っている際の相談相手の関係性】

普段の生活の中で困っている際の相談相手について、他の選択肢への回答状況とあわせてみると、「インターネットで調べる」、「自分の国にいる家族や友人」を相談相手としている者は、その他の相談相手として「会社の同じ国の人」も選択している割合が高い傾向となった。

		サンプル数	会社の日本人	会社の同じ国の人	監理団体の人	役所などの相談窓口	インターネットで調べる	自分の国にいる家族や友人	日本語教室の先生	近所の日本人	その他
上段:実数、下段:%											
全体		1,299 100.0	463 35.6	590 45.4	578 44.5	8 0.6	125 9.6	297 22.9	139 10.7	13 1.0	54 4.2
普段の生活で困っている際の相談相手	会社の日本人	463 100.0	463 100.0	185 40.0	249 53.8	1 0.2	48 10.4	53 11.4	44 9.5	6 1.3	3 0.6
	会社の同じ国の人	590 100.0	185 31.4	590 100.0	193 32.7	4 0.7	64 10.8	120 20.3	62 10.5	3 0.5	18 3.1
	監理団体の人	578 100.0	249 43.1	193 33.4	578 100.0	6 1.0	40 6.9	69 11.9	34 5.9	7 1.2	8 1.4
	役所などの相談窓口	8 100.0	1 12.5	4 50.0	6 75.0	8 100.0	0 0.0	2 25.0	3 37.5	0 0.0	0 0.0
	インターネットで調べる	125 100.0	48 38.4	64 51.2	40 32.0	0 0.0	125 100.0	36 28.8	10 8.0	2 1.6	2 1.6
	自分の国にいる家族や友人	297 100.0	53 17.8	120 40.4	69 23.2	2 0.7	36 12.1	297 100.0	18 6.1	1 0.3	5 1.7
	日本語教室の先生	139 100.0	44 31.7	62 44.6	34 24.5	3 2.2	10 7.2	18 12.9	139 100.0	0 0.0	0 0.0
	近所の日本人	13 100.0	6 46.2	3 23.1	7 53.8	0 0.0	2 15.4	1 7.7	0 0.0	13 100.0	0 0.0
	その他	54 100.0	3 5.6	18 33.3	8 14.8	0 0.0	2 3.7	5 9.3	0 0.0	0 0.0	54 100.0

③ 広島県内にある公的な相談窓口の認知度と相談の経験の有無

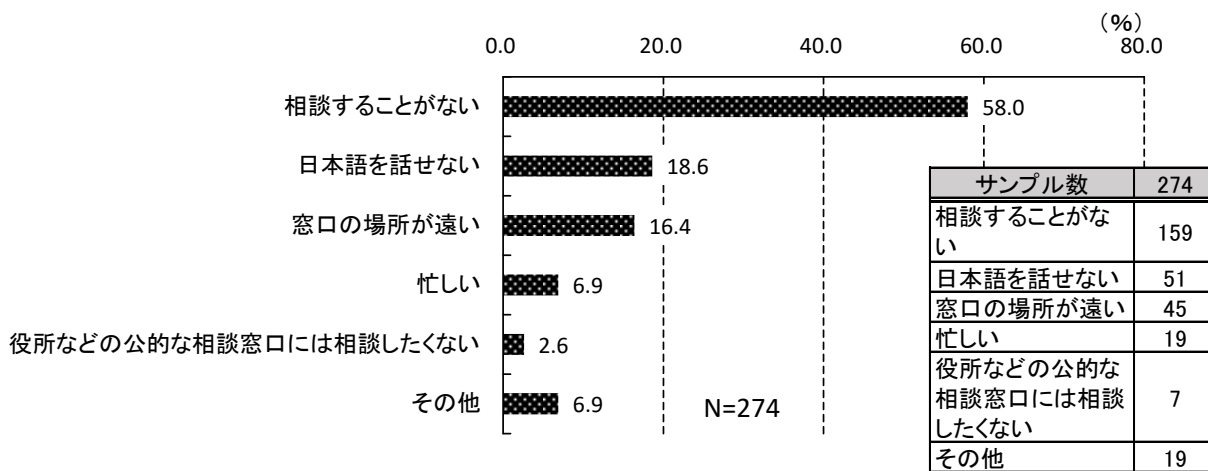
設問：広島県内の役所など、公的な相談窓口があることを知っていますか？（1つだけ選択）

「知らない」が70.8%で最も高く、多くの技能実習生が公的な相談窓口を認知していないという結果となった。

	サンプル数	認知している 。したこともあ る。あ	知っている たけれど、これ は、相談したこ とではない	知らない	
上段:実数、下段:%					
全体	1,263 100.0	36 2.9	333 26.4	894 70.8	
出身国	ベトナム	484 100.0	7 1.4	81 16.7	396 81.8
	中国	485 100.0	20 4.1	129 26.6	336 69.3
	フィリピン	134 100.0	3 2.2	61 45.5	70 52.2
	インドネシア	99 100.0	3 3.0	54 54.5	42 42.4
	その他	53 100.0	3 5.7	5 9.4	45 84.9

【相談したことがない理由（「知っているけれど、相談したことはない」選択者のみ）】

公的な相談窓口を認知しているが相談したことがないと選択した回答者に対して、相談したことがない理由をたずねたところ、「相談することがない」が58.0%で最も高い一方で、「日本語を話せない」が18.6%、「窓口の場所が遠い」が16.4%と、約1/3の者が、自身の日本語能力や居住環境などの理由により、相談窓口を利用できていないという結果となった。

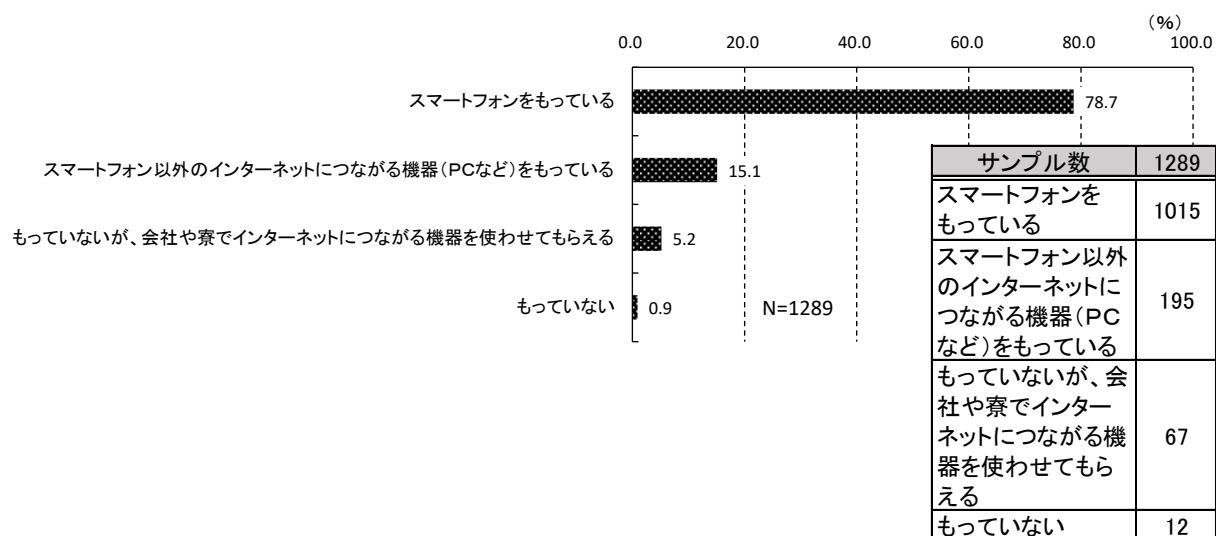


④ インターネット接続機器（スマートフォン等）の保有状況

設問：日頃の生活の情報を得る方法や、自分の国にいる家族や友人との連絡方法について教えてください。

① スマートフォンやインターネットにつながる機器を持っていますか？（1つだけ選択）

「スマートフォンをもっている」が78.7%で最も高く、次いで「スマートフォン以外のインターネットにつながる機器」が15.1%、「もっていないが、会社や寮でインターネットにつながる機器を使わせてもらえる」が5.2%で、あわせてインターネットを利用できる環境にある者が90%以上となった。

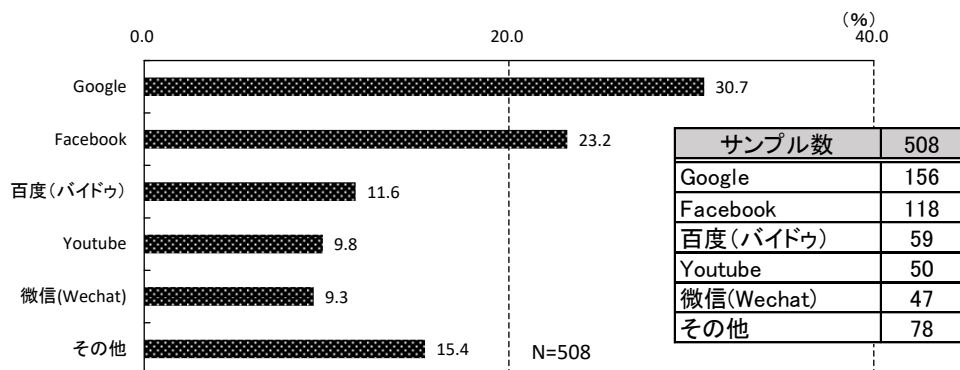


設問：日頃の生活の情報を得る方法や、自分の国にいる家族や友人との連絡方法について教えてください。

- ② よく使うインターネットの web サイトや SNS など、情報を知る方法を教えてください。
また、どれくらい見ているかも教えてください。

【最もよく利用する web サイト】

「Google」が 30.7% で最も高く、次いで「Facebook」が 23.2%、「百度（バイドゥ）」が 11.6% となった。



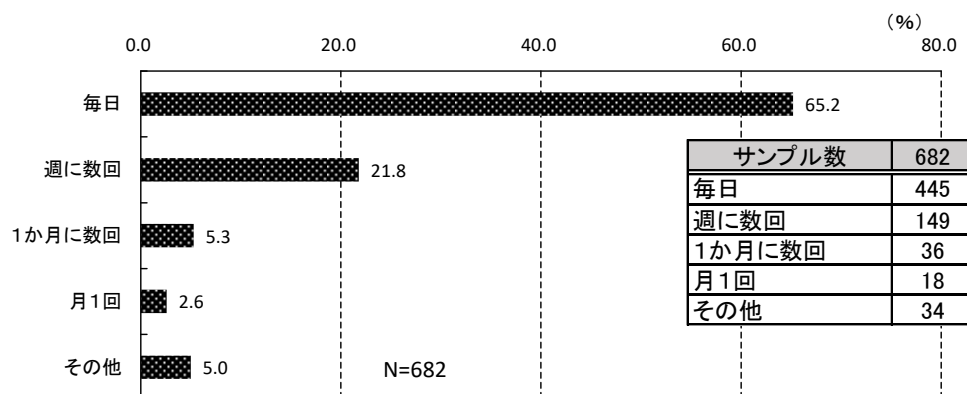
【出身国別】

出身国別にみると、ベトナム出身者では、「Facebook」、フィリピンとインドネシア出身者では「Google」の割合が、他国出身者と比較して高い傾向となった。また、中国出身者では、70%以上の者が「微信（Wechat）」または「百度（バイドゥ）」を利用しているという結果となった。

		サンプル数	F a c e b o o k	G o o g l e	Y o u t u b e	微信 (W e c h a t)	百度 (バイドゥ)	その他
上段:実数、下段:%								
全体		508 100.0	118 23.2	156 30.7	50 9.8	47 9.3	59 11.6	78 15.4
出身国	ベトナム	229 100.0	101 44.1	66 28.8	21 9.2	0 0.0	0 0.0	41 17.9
	中国	142 100.0	0 0.0	10 7.0	4 2.8	47 33.1	59 41.5	22 15.5
	フィリピン	75 100.0	10 13.3	51 68.0	9 12.0	0 0.0	0 0.0	5 6.7
	インドネシア	43 100.0	1 2.3	26 60.5	10 23.3	0 0.0	0 0.0	6 14.0
	その他	15 100.0	5 33.3	1 6.7	6 40.0	0 0.0	0 0.0	3 20.0

【最もよく利用する web サイトの利用頻度】

最もよく利用する web サイトの利用頻度は、「毎日」が 65.2%で最も高く、次いで「週に数回」が 21.8%で、週に数回以上利用する者が 80%以上となった。



【出身国別】

出身国別にみると、すべての国においても、約 80%~90%の者が、「週に数回」以上利用しているという結果となった。

	サンプル数	毎日	週に数回	1か月に数回	月1回	その他	
上段:実数、下段:%							
全体	682	445	149	36	18	34	
		65.2	21.8	5.3	2.6	5.0	
出身国	ベトナム	295	208	55	16	4	12
		100.0	70.5	18.6	5.4	1.4	4.1
	中国	225	129	54	15	6	21
		100.0	57.3	24.0	6.7	2.7	9.3
	フィリピン	98	64	27	3	3	1
		100.0	65.3	27.6	3.1	3.1	1.0
インドネシア	42	27	10	1	4	0	
	100.0	64.3	23.8	2.4	9.5	0.0	
その他	18	16	2	0	0	0	
	100.0	88.9	11.1	0.0	0.0	0.0	

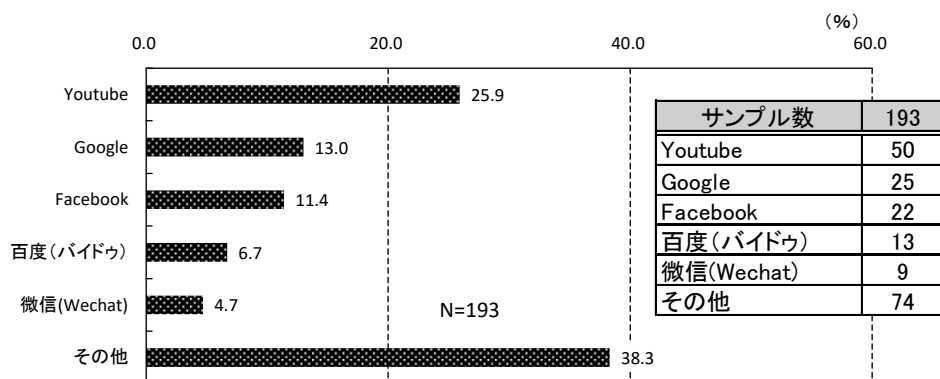
【最もよく利用する web サイト別利用頻度】

最もよく利用する web サイト別に利用頻度をみると、「毎日」利用するでは「Facebook」が 31.7%で最も高く、次いで「Google」が 26.9%となった。「週に数回」利用するでは、「Google」が 43.0%で最も高かった。

	サンプル数	Facebook	Google	YouTube	Wechat	百度(バイ)	その他	
上段:実数、下段:%								
全体	508	118	156	50	47	59	78	
	100.0	23.2	30.7	9.8	9.3	11.6	15.4	
利用頻度	毎日	331	105	89	38	31	43	
		100.0	31.7	26.9	11.5	9.4	13.0	
	週に数回	114	7	49	8	9	18	23
		100.0	6.1	43.0	7.0	7.9	15.8	20.2
	1か月に数回	19	0	4	1	1	8	5
		100.0	0.0	21.1	5.3	5.3	42.1	26.3
月1回	7	0	6	0	0	0	1	
	100.0	0.0	85.7	0.0	0.0	0.0	14.3	
その他	4	0	2	0	0	2	0	
	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	

【2番目によく利用するweb サイト】

「その他」を除くと、「Youtube」が25.9%、次いで「Google」が13.0%、「Facebook」が11.4%となった。



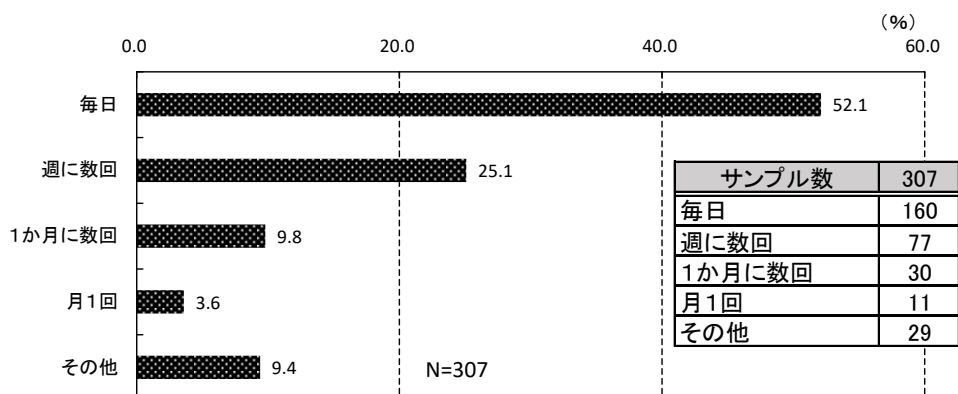
【出身国別】

出身国別にみると、フィリピンとインドネシア出身者では、「Youtube」の割合が高い傾向となった。また、その他の国以外の出身者では「その他」が、約30%~40%と高くなっている。

		サンプル数	Facebook	Google	Youtube	微信(Wechat)	百度(バイドゥ)	その他
上段:実数、下段:%								
全体		193	22	25	50	9	13	74
		100.0	11.4	13.0	25.9	4.7	6.7	38.3
出身国	ベトナム	91	16	15	26	0	0	34
		100.0	17.6	16.5	28.6	0.0	0.0	37.4
	中国	54	0	6	2	9	13	24
		100.0	0.0	11.1	3.7	16.7	24.1	44.4
	フィリピン	34	5	2	15	0	0	12
		100.0	14.7	5.9	44.1	0.0	0.0	35.3
インドネシア	13	0	2	7	0	0	4	
	100.0	0.0	15.4	53.8	0.0	0.0	30.8	
その他	1	1	0	0	0	0	0	0
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【2番目によく利用する web サイトの利用頻度】

2番目によく利用する web サイトの利用頻度は、「毎日」が 52.1%で最も高く、次いで「週に数回」が 25.1%で、1番よく利用する web サイトと同様に、週に数回以上利用する者が 80%程度という結果となった。



【出身国別】

出身国別にみると、いずれも「週に数回」以上利用する者が、約 70%~90%と高くなっている。

		サンプル数	毎日	週に数回	1か月に数回	月1回	その他
上段:実数、下段:%							
全体		307	160	77	30	11	29
		100.0	52.1	25.1	9.8	3.6	9.4
出身国	ベトナム	127	78	32	5	4	8
		100.0	61.4	25.2	3.9	3.1	6.3
	中国	110	46	26	15	6	17
		100.0	41.8	23.6	13.6	5.5	15.5
	フィリピン	51	26	14	8	0	3
	100.0	51.0	27.5	15.7	0.0	5.9	
インドネシア	15	8	4	2	0	1	
	100.0	53.3	26.7	13.3	0.0	6.7	
その他	3	2	1	0	0	0	
	100.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	

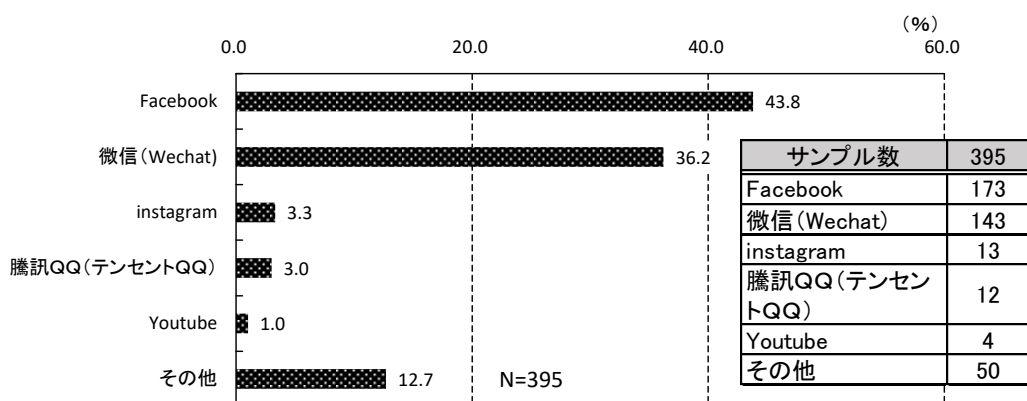
【2番目によく利用する web サイト別利用頻度】

2番目によく利用する web サイト別の利用頻度をみると、「毎日」利用するでは「Youtube」が 29.9%で最も高く、次いで「Facebook」が 18.6%となった。「週に数回」利用するでは、「その他」を除けば「Youtube」が 27.3%と最も高い結果となった。

		サンプル数	k F a c e b o o	G o o g l e	Y o u t u b e	~ (W 信 e c h a t	ド 百 度 (パ イ	そ の 他
上段:実数、下段:%								
全体		193	22	25	50	9	13	74
		100.0	11.4	13.0	25.9	4.7	6.7	38.3
利用頻度	毎日	97	18	11	29	7	3	29
		100.0	18.6	11.3	29.9	7.2	3.1	29.9
	週に数回	55	3	7	15	1	6	23
		100.0	5.5	12.7	27.3	1.8	10.9	41.8
	1か月に数回	18	0	3	3	0	3	9
	100.0	0.0	16.7	16.7	0.0	16.7	50.0	
月1回	1	0	0	0	0	0	1	
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
その他	4	0	2	1	0	0	1	
	100.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	25.0	

【最もよく利用する SNS と利用頻度】

「Facebook」が43.8%で最も高く、次いで「微信（Wechat）」が36.2%となった。



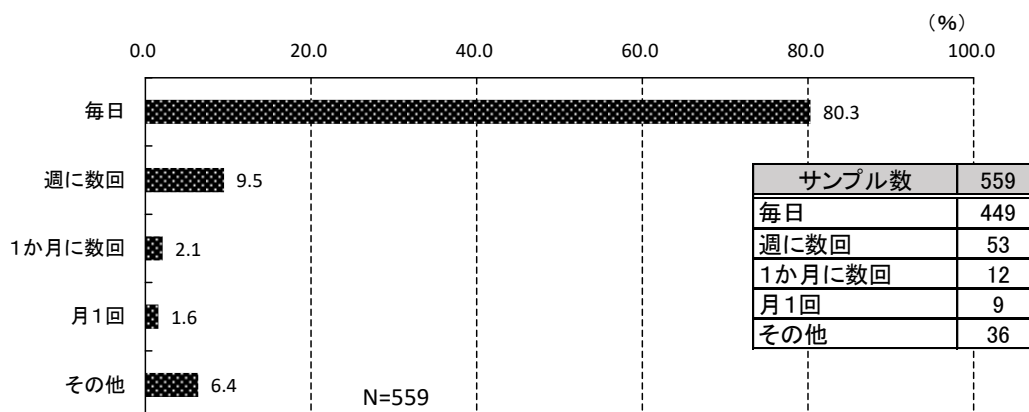
【出身国別】

出身国別にみると、中国出身者以外では、「Facebook」がそれぞれ約50%～80%で、高い傾向となった。一方、中国出身者では、「微信（Wechat）」が91.1%となっており、90%以上の者が利用しているという結果となった。

	サンプル数	F a c e b o o k	i n s t a g r a m	Y o u t u b e	微 信 (W e c h a t)	騰 訊 Q Q (テ ン セ ン ト Q Q)	そ の 他
上段:実数、下段:%							
全 体	395	173	13	4	143	12	50
	100.0	43.8	3.3	1.0	36.2	3.0	12.7
出 身 国	ベトナム	55	37	0	0	0	18
		100.0	67.3	0.0	0.0	0.0	32.7
	中国	157	1	0	0	143	12
		100.0	0.6	0.0	0.0	91.1	7.6
	フィリピン	70	56	0	1	0	13
		100.0	80.0	0.0	1.4	0.0	18.6
インドネシア	96	70	12	3	0	11	
	100.0	72.9	12.5	3.1	0.0	11.5	
その他	14	7	0	0	0	7	
	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	

【最もよく利用する SNS の利用頻度】

最もよく利用する SNS の利用頻度は、「毎日」が 80.3%で最も高いという結果となった。



【出身国別】

出身国別にみると、フィリピン、インドネシア、その他の国出身者では、「毎日」利用する者が約 80%~90%と高い傾向となった。ベトナム、中国出身者についても、「週に数回」以上利用する者が約 80%で、いずれの国の出身者においても、利用頻度は高い傾向となった。

	サンプル数	毎日	週に数回	1か月に数回	月1回	その他	
上段:実数、下段:%							
全体	559 100.0	449 80.3	53 9.5	12 2.1	9 1.6	36 6.4	
出身国	ベトナム	107 100.0	68 63.6	14 13.1	5 4.7	4 3.7	16 15.0
	中国	225 100.0	175 77.8	21 9.3	5 2.2	4 1.8	20 8.9
	フィリピン	112 100.0	104 92.9	6 5.4	2 1.8	0 0.0	0 0.0
	インドネシア	87 100.0	79 90.8	7 8.0	0 0.0	1 1.1	0 0.0
	その他	25 100.0	20 80.0	5 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

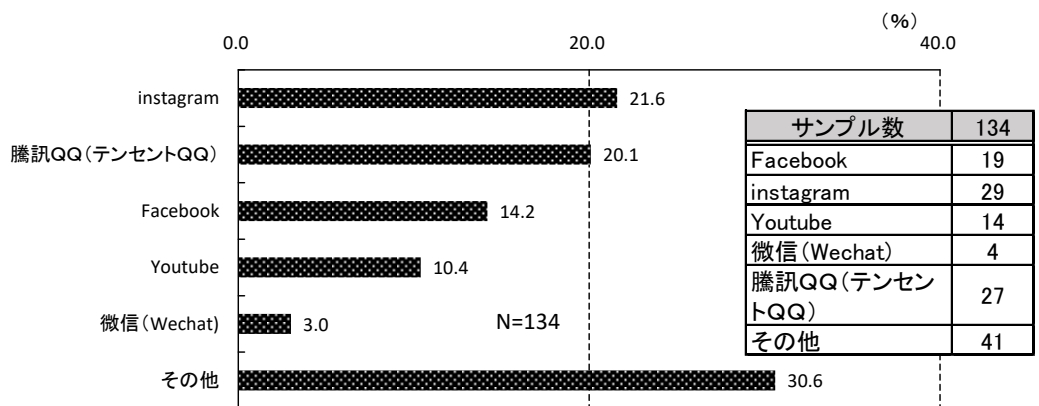
【最もよく利用する SNS 別利用頻度】

最もよく利用する SNS 別に利用頻度をみると、「毎日」利用するでは「Facebook」が 44.2%で最も高く、次いで「微信（Wechat）」が 34.5%となった。「週に数回」利用するも同様に、「Facebook」が 47.8%、次いで「微信（Wechat）」が 30.4%と高くなっている。

	サンプル数	Facebook	Instagram	YouTube	微信 (Wechat)	騰訊 QQ (テン)	その他	
上段:実数、下段:%								
全体	395 100.0	173 43.8	13 3.3	4 1.0	143 36.2	12 3.0	50 12.7	
利用頻度	毎日	328 100.0	145 44.2	12 3.7	4 1.2	113 34.5	9 2.7	45 13.7
	週に数回	23 100.0	11 47.8	0 0.0	0 0.0	7 30.4	1 4.3	4 17.4
	1か月に数回	4 100.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	3 75.0	0 0.0	0 0.0
	月1回	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

【2番目によく利用する SNS】

「その他」を除くと「instagram」が 21.6%、次いで「騰訊（テンセント QQ）」が 20.1%、「Facebook」が 14.2%となっている。



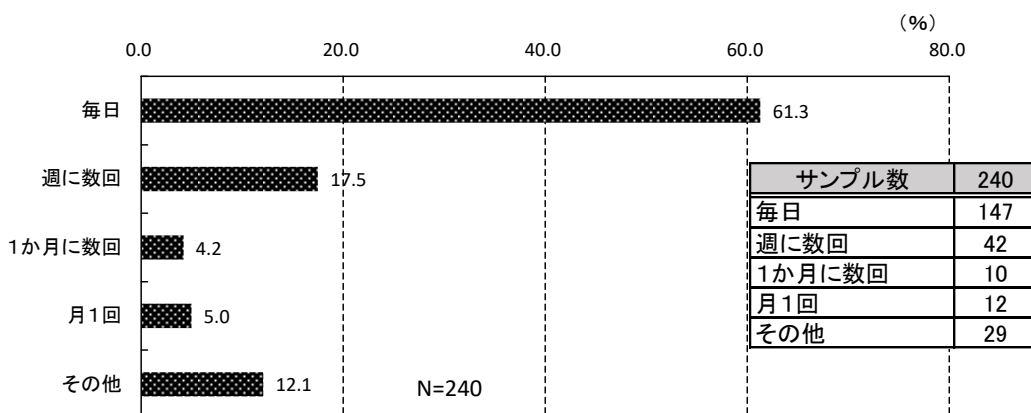
【出身国別】

出身国別にみると、中国出身者では「騰訊（テンセント QQ）」が 75.0%と高くなっている。また、インドネシア出身者では「instagram」が 44.9%で、他国出身者と比較して、高い傾向となった。

		サンプル数	F a c e b o o k	i n s t a g r a m	Y o u t u b e	微 信 (W e c h a t)	騰 訊 Q Q (テ ン セ ン ト)	そ の 他
		上段:実数、下段:%						
全 体		134 100.0	19 14.2	29 21.6	14 10.4	4 3.0	27 20.1	41 30.6
出 身 国	ベトナム	18 100.0	3 16.7	1 5.6	1 5.6	0 0.0	0 0.0	13 72.2
	中国	36 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 11.1	27 75.0	5 13.9
	フィリピン	27 100.0	3 11.1	6 22.2	6 22.2	0 0.0	0 0.0	12 44.4
	インドネシア	49 100.0	10 20.4	22 44.9	6 12.2	0 0.0	0 0.0	11 22.4
	その他	4 100.0	3 75.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

【2番目によく利用する SNS の利用頻度】

2番目によく利用する SNS の利用頻度は、「毎日」が61.3%で最も高く、次いで「週に数回」が17.5%で、約80%の者が、週に数回以上利用するという結果となった。



【出身国別】

出身国別にみると、フィリピンとインドネシア出身者では、「毎日」利用する者が約80%で、他の国の出身者と比較して高い傾向となった。ベトナム、中国、その他の国の出身者においても、「週に数回」以上利用する者がそれぞれ60%以上となっている。

	サンプル数	毎日	週に数回	1か月に数回	月1回	その他	
							上段:実数、下段:%
全体	240	147	42	10	12	29	
	100.0	61.3	17.5	4.2	5.0	12.1	
出身国	ベトナム	50	27	6	3	5	9
		100.0	54.0	12.0	6.0	10.0	18.0
	中国	86	38	20	6	6	16
		100.0	44.2	23.3	7.0	7.0	18.6
	フィリピン	49	37	7	0	1	4
		100.0	75.5	14.3	0.0	2.0	8.2
インドネシア	47	39	7	1	0	0	
	100.0	83.0	14.9	2.1	0.0	0.0	
その他	6	4	2	0	0	0	
	100.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	

【2番目によく利用する SNS 別利用頻度】

2番目によく利用する SNS 別に利用頻度をみると、「毎日」利用するでは「その他」を除けば「instagram」が22.0%と最も高くなった。「週に数回」では、「騰訊(テンセント QQ)」が33.3%で最も高く、次いで「instagram」が29.6%となった。

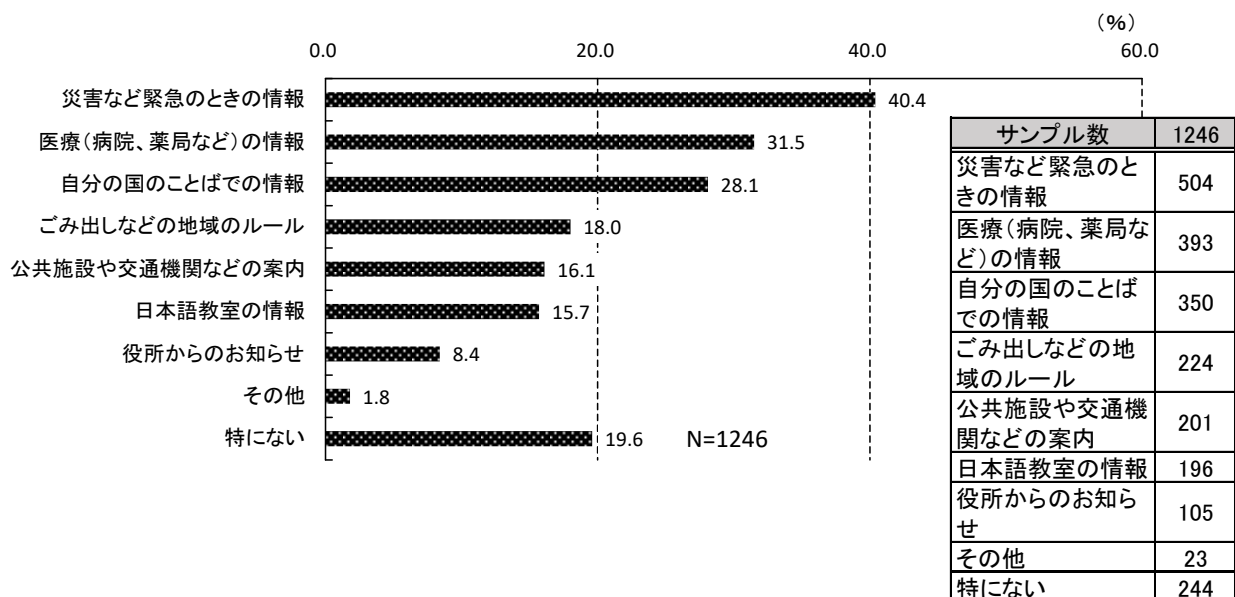
	サンプル数	Facebook	Instagram	YouTube	Wechat	騰訊QQ(テンセントQQ)	その他	
								上段:実数、下段:%
全体	134	19	29	14	4	27	41	
	100.0	14.2	21.6	10.4	3.0	20.1	30.6	
利用頻度	毎日	91	17	20	12	2	13	27
		100.0	18.7	22.0	13.2	2.2	14.3	29.7
	週に数回	27	2	8	1	1	9	6
		100.0	7.4	29.6	3.7	3.7	33.3	22.2
	1か月に数回	8	0	1	0	0	5	2
		100.0	0.0	12.5	0.0	0.0	62.5	25.0
月1回	3	0	0	0	0	0	3	
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
その他	1	0	0	0	0	0	1	
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	

⑤ 普段の生活の中で必要な情報

設問：日頃の生活の情報を得る方法や、自分の国にいる家族や友人との連絡方法について教えてください。

③ 生活の情報で、あなたが欲しい情報は何か？（複数回答可）

「災害など緊急のときの情報」が40.4%で最も高く、次いで「医療（病院、薬局など）の情報」が31.5%、「自分の国のことばでの情報」が28.1%となっている。



【出身国別】

出身国別にみると、ベトナム出身者では「災害など緊急のときの情報」が53.0%、「医療（病院、薬局など）の情報」が38.8%で、高くなっている。フィリピン出身者については、ベトナム出身者と同様に「災害など緊急のときの情報」が44.8%、「医療（病院、薬局など）の情報」が39.2%で高くなっているほか、「公共施設や交通機関などの案内」も32.9%で高い結果となった。インドネシア出身者については「自分の国のことばの情報」が60.4%で、他と比較して特に高くなっている。

一方、中国出身者は「特にない」が37.0%で、他国出身者と比較して高い結果となった。

	サンプル数	局医 な療 ど(病 院の 情、 報薬	ば自 で分 のの 情国 報の こと	ら役 せ所 から のの お知	報日 本語 教室 の情	と災 害な ど情 報緊 急の	機公 関施 な設 なや 案交 内通	地ご 域み の出 ルし な ルの	特 に な い	そ の 他	
上段:実数、下段:%											
全体	1,246 100.0	393 31.5	350 28.1	105 8.4	196 15.7	504 40.4	201 16.1	224 18.0	244 19.6	23 1.8	
出身国	ベトナム	474 100.0	184 38.8	171 36.1	46 9.7	91 19.2	251 53.0	71 15.0	108 22.8	53 11.2	5 1.1
	中国	470 100.0	131 27.9	77 16.4	26 5.5	58 12.3	142 30.2	58 12.3	69 14.7	174 37.0	9 1.9
	フィリピン	143 100.0	56 39.2	16 11.2	26 18.2	19 13.3	64 44.8	47 32.9	33 23.1	3 2.1	4 2.8
	インドネシア	101 100.0	14 13.9	61 60.4	5 5.0	24 23.8	25 24.8	14 13.9	10 9.9	8 7.9	5 5.0
	その他	50 100.0	4 8.0	20 40.0	1 2.0	4 8.0	19 38.0	11 22.0	3 6.0	5 10.0	0 0.0

【在留期間別】

在留期間が1年未満の短い者と、在留期間が1年以上の長い者についてみると、「医療（病院、薬局など）の情報」、「災害など緊急のときの情報」、「公共施設や交通機関などの案内」において、在留期間が短いの方が、在留期間が長い者よりも情報のニーズが高い傾向となった。

		サンプル数	局医療など（病院、情報、薬	ば自での情国のこと	ら役所からの告知	報日本語教室の情報	と災害など緊急の情報	機公共施設や案内	地ごみの出しなどの	特にな	その他
上段:実数、下段:%											
全体		1,246 100.0	393 31.5	350 28.1	105 8.4	196 15.7	504 40.4	201 16.1	224 18.0	244 19.6	23 1.8
在留期間	1年未満	317 100.0	128 40.4	103 32.5	28 8.8	54 17.0	157 49.5	68 21.5	65 20.5	39 12.3	5 1.6
	1年	277 100.0	89 32.1	74 26.7	15 5.4	44 15.9	111 40.1	36 13.0	57 20.6	52 18.8	6 2.2
	2年	421 100.0	120 28.5	117 27.8	36 8.6	53 12.6	151 35.9	55 13.1	59 14.0	102 24.2	8 1.9
	3年	174 100.0	48 27.6	44 25.3	18 10.3	34 19.5	66 37.9	34 19.5	36 20.7	36 20.7	4 2.3
	4年以上	38 100.0	4 10.5	7 18.4	7 18.4	6 15.8	14 36.8	6 15.8	4 10.5	10 26.3	0 0.0

【居住地域別】

居住地域別にみると、西部地域、中部地域では「災害など緊急のときの情報」がそれぞれ45.0%、63.3%、「ごみ出しなどの地域のルール」がそれぞれ26.4%、28.8%で、他の地域と比較して高い傾向となっており、居住地域によって「緊急時の情報」や「地域ルールに関する情報」のニーズに傾向の違いがみられた。

		サンプル数	局医療など（病院、情報、薬	ば自での情国のこと	ら役所からの告知	報日本語教室の情報	と災害など緊急の情報	機公共施設や案内	地ごみの出しなどの	特にな	その他
上段:実数、下段:%											
全体		1,246 100.0	393 31.5	350 28.1	105 8.4	196 15.7	504 40.4	201 16.1	224 18.0	244 19.6	23 1.8
居住地域	西部	242 100.0	85 35.1	79 32.6	30 12.4	44 18.2	109 45.0	38 15.7	64 26.4	32 13.2	2 0.8
	中部	139 100.0	54 38.8	44 31.7	13 9.4	23 16.5	88 63.3	24 17.3	40 28.8	11 7.9	2 1.4
	東部	631 100.0	177 28.1	179 28.4	49 7.8	96 15.2	223 35.3	94 14.9	88 13.9	137 21.7	12 1.9
	北部	83 100.0	25 30.1	11 13.3	1 1.2	9 10.8	29 34.9	11 13.3	8 9.6	31 37.3	1 1.2

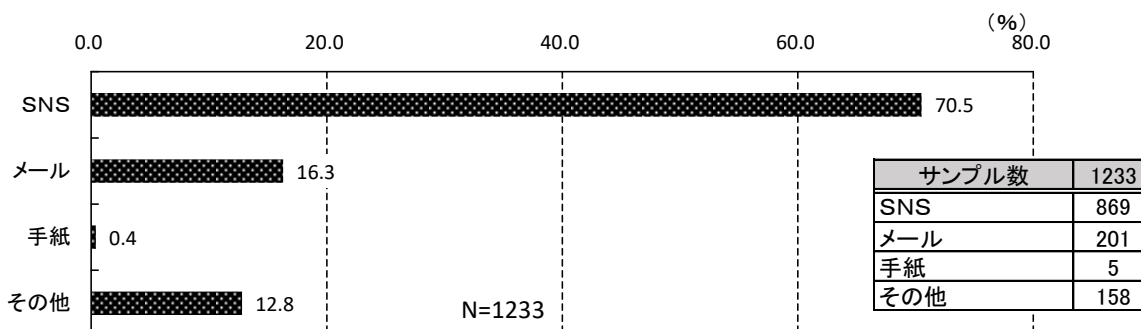
⑥ 自分の国にいる家族や友人との連絡方法とその頻度

設問：日頃の生活の情報を得る方法や、自分の国にいる家族や友人との連絡方法について教えてください。

③ 自分の国にいる家族や友人とは、どのように連絡をとっていますか？（1つだけ選択）

「SNS」が70.5%で最も高く、次いで「メール」が16.3%、「その他」が12.8%となった。

【連絡方法】



【出身国別】

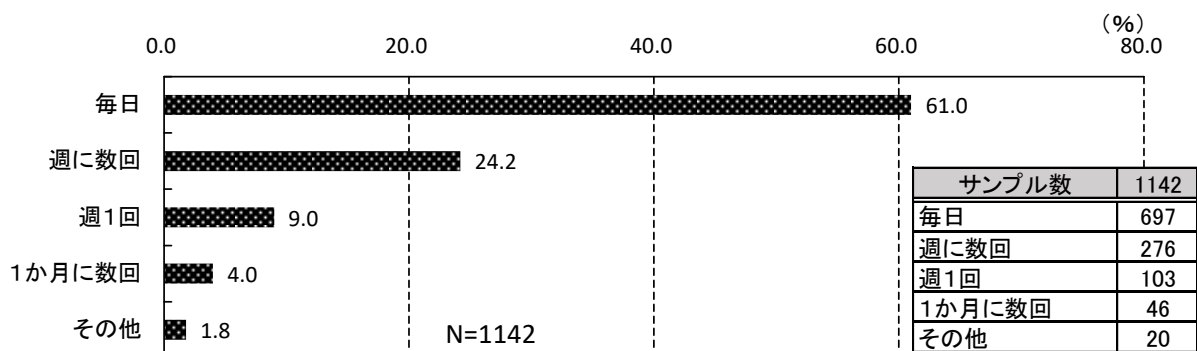
出身国別にみると、ベトナム出身者以外では、「SNS」がそれぞれ約70%~90%で、特にインドネシア出身者では97.0%と高い傾向となった。

また、ベトナム、フィリピン出身者では、「メール」がそれぞれ約20%~30%で、他国出身者と比較して高い傾向となった。

	サンプル数	メール	SNS	手紙	その他	
上段:実数、下段:%						
全体	1,233 100.0	201 16.3	869 70.5	5 0.4	158 12.8	
出身国	ベトナム	468 100.0	140 29.9	272 58.1	2 0.4	54 11.5
	中国	462 100.0	19 4.1	350 75.8	3 0.6	90 19.5
	フィリピン	143 100.0	31 21.7	108 75.5	0 0.0	4 2.8
	インドネシア	100 100.0	1 1.0	97 97.0	0 0.0	2 2.0
	その他	52 100.0	9 17.3	35 67.3	0 0.0	8 15.4

【連絡頻度】（1つだけ選択）

「毎日」が61.0%で最も高く、次いで「週に数回」が24.2%となっており、80%以上の者が、週に数回以上の頻度で連絡を取っているという結果となった。



【出身国別】

出身国別にみると、フィリピン出身者では「毎日」が84.2%で、他国出身者と比較して連絡頻度が高い傾向となった。また、他の国出身者についても、約80%以上は週に数回以上の頻度で連絡をとっている。

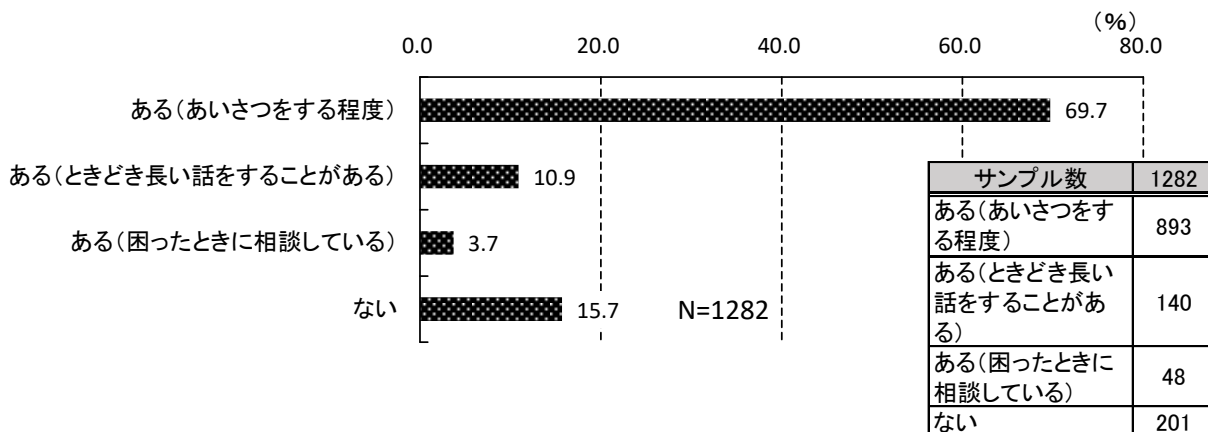
	サンプル数	毎日	週に数回	週1回	1か月に数回	その他	
上段:実数、下段:%							
全体	1,142 100.0	697 61.0	276 24.2	103 9.0	46 4.0	20 1.8	
出身国	ベトナム	437 100.0	269 61.6	117 26.8	35 8.0	16 3.7	0 0.0
	中国	422 100.0	227 53.8	91 21.6	56 13.3	28 6.6	20 4.7
	フィリピン	133 100.0	112 84.2	19 14.3	2 1.5	0 0.0	0 0.0
	インドネシア	96 100.0	48 50.0	43 44.8	3 3.1	2 2.1	0 0.0
	その他	47 100.0	36 76.6	5 10.6	6 12.8	0 0.0	0 0.0

(6)日本人との交流状況

① 近所の日本人と会話をする頻度

設問：近所の日本人と話をすることがありますか？（1つだけ選択）

「ある（あいさつをする程度）」が69.7%で最も高いが、「ある（ときどき長い話をすることがある）」は10.9%、「ある（困ったときに相談している）」は3.7%にとどまり、あいさつ以上の深い交流がある者は少数となった。



【出身国別】

出身国別にみると、フィリピン出身者では「ある（あいさつをする程度）」が82.1%で他国出身者と比較して高くなっている。

インドネシア出身者については「ある（ときどき長い話をすることがある）」が、36.7%となっており、他国出身者と比較してあいさつ以上の交流がある者の割合が高い傾向となった。

	サンプル数	をある（あいさつをする程度）				ない
		と長ある（ときどき長い話をする）	がある（ときどき長い話をする）	ある（困ったときに相談している）	ある（困ったときに相談している）	
上段:実数、下段:%						
全体	1,282 100.0	893 69.7	140 10.9	48 3.7	201 15.7	
出身国	ベトナム	490 100.0	341 69.6	50 10.2	21 4.3	78 15.9
	中国	487 100.0	337 69.2	32 6.6	21 4.3	97 19.9
	フィリピン	145 100.0	119 82.1	7 4.8	0 0.0	19 13.1
	インドネシア	98 100.0	57 58.2	36 36.7	4 4.1	1 1.0
	その他	55 100.0	36 65.5	13 23.6	1 1.8	5 9.1

② 近所の日本人と今後の交流に対する希望

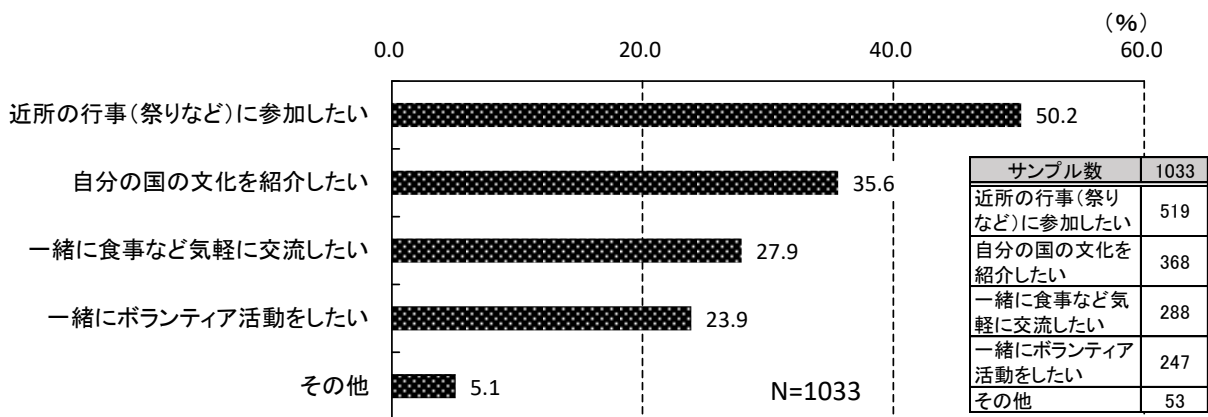
設問：近所の日本人と、もっと仲良くなりたいと思いますか？（1つだけ選択）

近所の日本人と今後仲良くなりたいと「思っている」が90.0%で、ほとんどの者が近所の日本人と親睦を深めたいと思っている結果となった。

		サンプル数	思っている	思っていない
上段:実数、下段:%				
全体		1,266 100.0	1,139 90.0	127 10.0
出身国	ベトナム	483 100.0	426 88.2	57 11.8
	中国	479 100.0	436 91.0	43 9.0
	フィリピン	144 100.0	136 94.4	8 5.6
	インドネシア	99 100.0	97 98.0	2 2.0
	その他	53 100.0	37 69.8	16 30.2

【近所の日本人とどのように交流関係を築きたいか（複数回答可）】

「近所の行事（祭りなど）に参加したい」が50.2%で最も高く、次いで「自分の国の文化を紹介したい」が35.6%、「一緒に食事など気軽に交流したい」が27.9%となった。



【出身国別】

出身国別にみると、ベトナムとその他の国の出身者では「近所の行事（祭りなど）に参加したい」がそれぞれ60.6%、72.2%で高くなっている。ベトナム出身者については「自分の国などの文化を紹介したい」も46.8%と、他の国と比較して高い結果となった。

インドネシア出身者については「一緒に食事など気軽に交流したい」が56.3%で、他国出身者と比較して高い傾向となった。

		サンプル数	近所の行事(祭りなど)に参加したい	自分の国の文化を紹介したい	一緒に食事など気軽に交流したい	一緒にボランティア活動をしたい	その他
上段:実数、下段:%							
全体		1,033 100.0	519 50.2	368 35.6	247 23.9	288 27.9	53 5.1
出身国	ベトナム	393 100.0	238 60.6	184 46.8	97 24.7	72 18.3	22 5.6
	中国	372 100.0	164 44.1	122 32.8	100 26.9	115 30.9	28 7.5
	フィリピン	130 100.0	49 37.7	32 24.6	31 23.8	42 32.3	3 2.3
	インドネシア	96 100.0	36 37.5	18 18.8	14 14.6	54 56.3	0 0.0
	その他	36 100.0	26 72.2	12 33.3	4 11.1	5 13.9	0 0.0

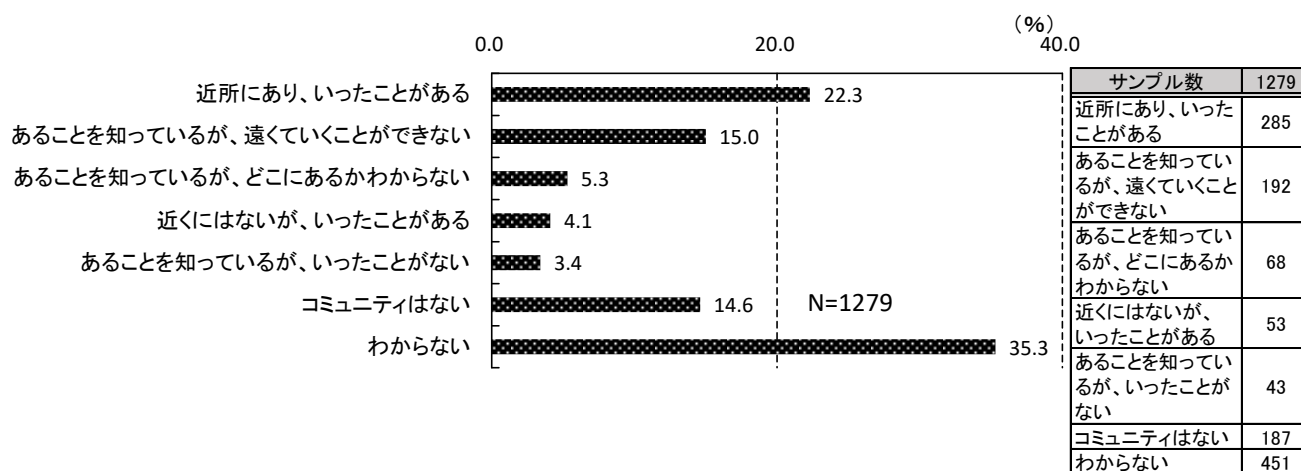
③ 母国の人で集まるコミュニティの有無

設問：あなたと同じ国の人が集まるコミュニティは、ありますか？（1つだけ選択）

「わからない」が 35.3%で最も高く、約 1/3 の者が同じ国の出身者が集まるコミュニティを認知していない結果となった。

一方、「近所にあり、いったことがある」が 22.3%となっており、「近くにはないが、いったことがある」と合わせたコミュニティの活用経験者は、約 1/4 という結果となった。

しかしながら、「あることを知っているが、遠くて行くことができない」が 15.0%、「あることを知っているが、どこにあるかわからない」が 5.3%で、認知しているにもかかわらず、居住環境などにより、活用にはっていない者が 20%程度となっている。



【出身国別】

出身国別にみると、ベトナムとインドネシア出身者では「近所にあり、いったことがある」と「近くにはないが、いったことがある」を合わせた割合が 35~40%程度で、他国出身者よりも活用経験者の割合が高い結果となった。

一方で、中国とその他の国の出身者については「わからない」がそれぞれ 56.9%と 41.5%で、同じ国の出身者同士が集まるコミュニティの認知度が低い傾向となった。

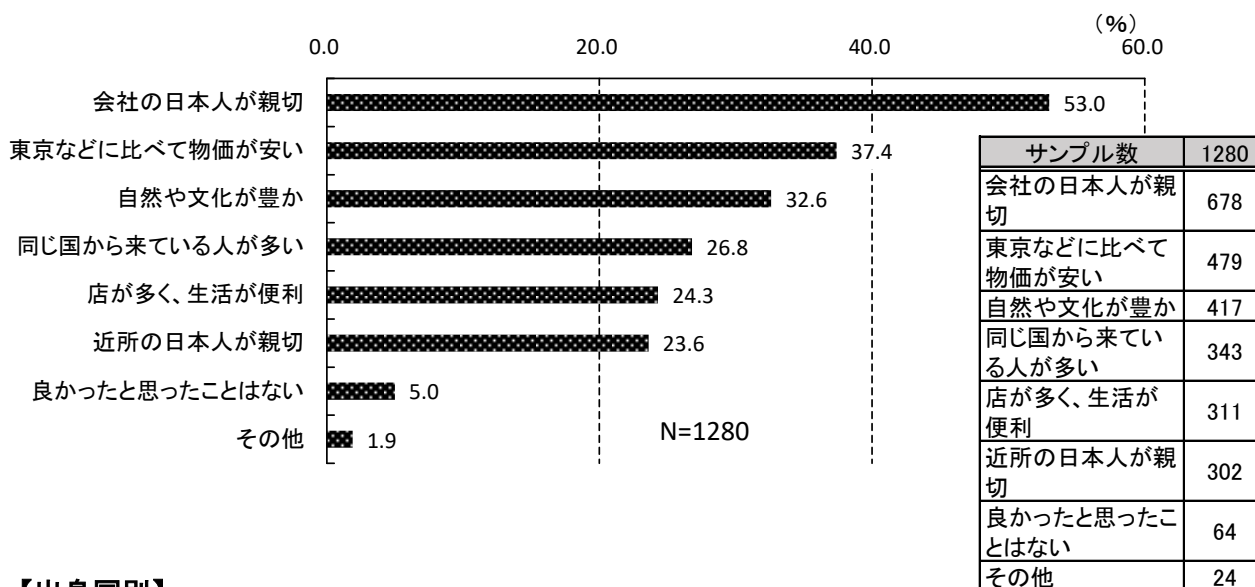
	サンプル数	近所にあり、いったことがある	近くにはないが、いったことがある	あることを知っているが、遠くて行くことができない	あることを知っているが、どこにあるかわからない	近くにはないが、いったことがある	あることを知っているが、いったことがない	コミュニティはない	わからない
全体	1,279	285	53	192	68	43	187	451	
	100.0	22.3	4.1	15.0	5.3	3.4	14.6	35.3	
出身国	ベトナム	491	170	33	107	18	24	56	83
		100.0	34.6	6.7	21.8	3.7	4.9	11.4	16.9
	中国	485	45	3	33	22	11	95	276
		100.0	9.3	0.6	6.8	4.5	2.3	19.6	56.9
	フィリピン	142	30	6	17	22	3	10	54
	100.0	21.1	4.2	12.0	15.5	2.1	7.0	38.0	
インドネシア	100	30	5	23	3	4	19	16	
	100.0	30.0	5.0	23.0	3.0	4.0	19.0	16.0	
その他	53	6	6	10	2	0	7	22	
	100.0	11.3	11.3	18.9	3.8	0.0	13.2	41.5	

(7) 広島県に対する評価

① 広島県内に住んで良かったと思うこと

設問：広島県内に住んで、良かったと思うことは何ですか？（複数回答可）

「会社の日本人が親切」が53.0%で最も高く、次いで「東京などに比べて物価が安い」が37.4%、「自然や文化が豊か」が32.6%と高く、人間関係や生活環境に対する評価が高い結果となった。



【出身国別】

出身国別にみると、ベトナム、中国、フィリピン、その他の国の出身者については「会社の日本人が親切」がそれぞれ50%以上となっているのに対し、インドネシア出身者では25.7%と低い傾向となった。

一方、インドネシア出身者では「東京などに比べて物価が安い」が51.5%、「自然や文化が豊か」が44.6%と高く、生活環境などについての評価が高い傾向となった。

また、ベトナム出身者では「店が多く、生活が便利」が33.5%、フィリピン出身者では「自然や文化が豊か」が51.4%で、それぞれ他国出身者と比較して高い結果となった。

	サンプル数	会社の日本人が親切 (%)	近所の日本人が親切 (%)	自然や文化が豊か (%)	店が多く、生活が便利 (%)	東京などに比べて物価が安い (%)	同じ国から来ている人が多い (%)	良かったとは思わない (%)	その他 (%)	
全体	1,280	53.0	23.6	32.6	24.3	37.4	26.8	5.0	1.9	
出身国	ベトナム	489	57.1	20.4	28.6	33.5	43.6	26.8	3.1	2.2
	中国	485	53.4	29.5	30.5	20.4	37.3	27.0	10.1	1.2
	フィリピン	142	50.7	15.5	51.4	18.3	17.6	25.4	0.0	1.4
	インドネシア	101	25.7	19.8	44.6	15.8	51.5	34.7	0.0	0.0
	その他	55	69.1	29.1	16.4	10.9	10.9	10.9	0.0	9.1

上段:実数、下段:%

【就業・居住希望地域別】

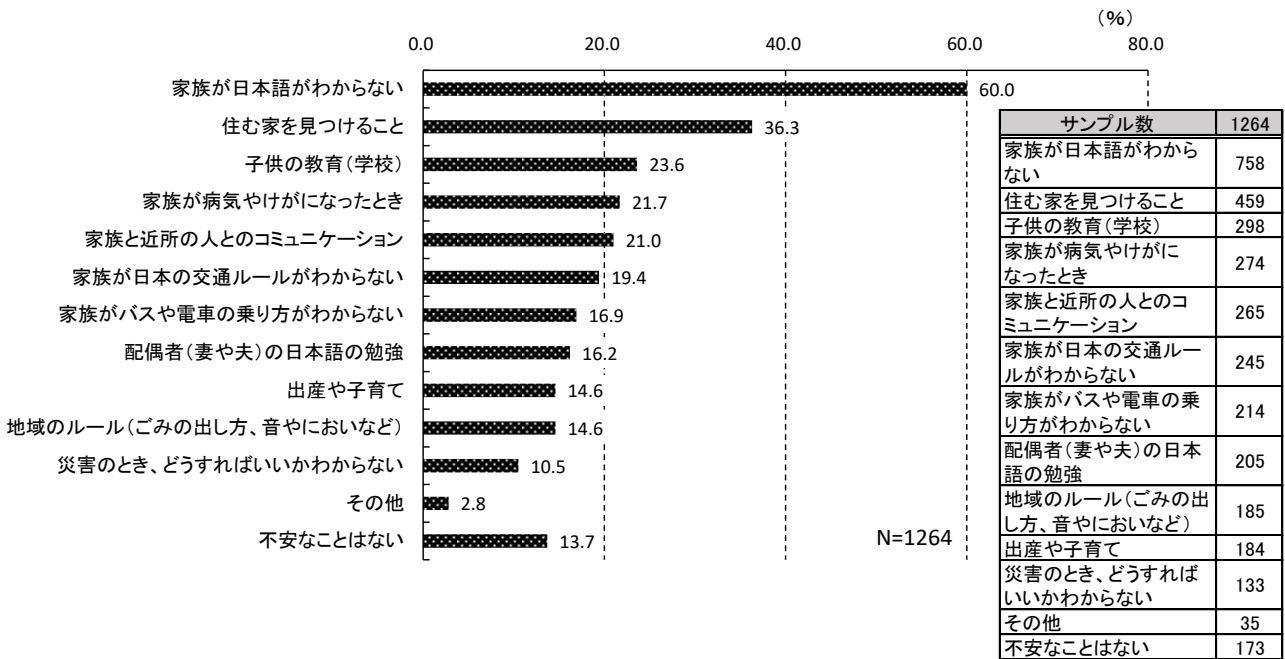
就労する企業の選択基準で就業・居住地を重視する者についてみると、就業・居住希望地域を広島県内とした者は「会社の日本人が親切」が56.7%で、東京や大阪、その他の地域を希望する者よりも高くなっており、現在の間関係が、今後も広島県内で就業・居住したいとする要因のひとつとなることが考えられる。

		サンプル数	親会社の日本人が	近所の日本人が	自然や文化が豊か	店が多く、生活が便利	東京などが安い	同じ国から来て	良かったと思っ	その他
上段:実数、下段:%										
全 体		1,280 100.0	678 53.0	302 23.6	417 32.6	311 24.3	479 37.4	343 26.8	64 5.0	24 1.9
就業・居住希望地域	広島県内	284 100.0	161 56.7	80 28.2	100 35.2	78 27.5	118 41.5	90 31.7	4 1.4	4 1.4
	東京	160 100.0	45 28.1	30 18.8	47 29.4	38 23.8	64 40.0	47 29.4	17 10.6	4 2.5
	大阪	52 100.0	20 38.5	14 26.9	18 34.6	8 15.4	21 40.4	14 26.9	6 11.5	1 1.9
	その他	7 100.0	2 28.6	2 28.6	1 14.3	0 0.0	2 28.6	1 14.3	0 0.0	1 14.3

② 家族と日本で生活する際に、不安に感じること

設問：もし、将来、家族を連れて来ることができるようになった場合、不安なことは何ですか？
（複数回答可）

「家族が日本語がわからない」が60.0%で最も高く、次いで「住む家を見つけること」が36.3%、「子どもの教育（学校）」が23.6%となっている



【出身国別】

出身国別にみると、中国出身者では「家族が日本語がわからない」が73.2%で、他国出身者と比較して高くなっている。また、フィリピン、インドネシア出身者では「住む家を見つけること」がそれぞれ47.2%、52.5%で、他国出身者と比較して高い傾向となった。

	サンプル数	住む家を見つける	家族が病气やけがになったとき	出産や子育て	子供の教育(学校)	家族が日本語がわからない	配偶者(妻や夫)の日本語の勉強	地域のルール(ごみの出し方、音やにおいなど)	家族と近所の人とのコミュニケーション	家族が日本の交通ルールがわからない	家族がバスや電車の乗り方がわからない	配偶者(妻や夫)の日本語の勉強	地域のルール(ごみの出し方、音やにおいなど)	出産や子育て	災害のとき、どうすればいいかわからない	その他	不安なことはない
全体	1,264	459	274	184	298	758	205	185	265	245	214	205	185	184	133	35	173
ベトナム	485	167	104	126	95	258	64	65	112	91	91	47	71	11	47	71	11
中国	474	162	120	26	142	347	93	95	111	123	92	71	64	17	71	64	17
フィリピン	142	67	10	9	31	69	28	5	21	7	14	4	14	6	4	14	6
インドネシア	101	53	27	18	19	49	14	11	16	13	8	5	7	1	5	7	1
その他	54	7	10	2	9	31	2	6	3	11	9	6	17	0	6	17	0